

2012

RICOH JAPAN

Corporate
Social
Responsibility
Report

社会から愛され、存続を望まれる企業を目指して

はじめに

目次

リコーグループ事業活動の基本理念

P3~P4

事業活動の原点はリコーウェイ

1. リコーウェイ
2. リコーバリュー
3. リコークオリティ



リコーグループCSRの考え方

P5~P6

持続可能な社会を目指して

1. 三愛精神／リコーグループ CSR の原点
2. 企業行動のフレームワーク
3. リコーグループ CSR 憲章
4. リコーグループの CSR の目指す姿
5. リコー日本の CSR 活動領域



環境保全

P7~P14

次の世代へ

1. リコーグループ地球環境保全の考え方
2. リコーグループ環境綱領
3. ISO 14001 認証取得
4. 省エネ・温暖化防止活動
5. 省資源・リサイクル活動
6. ペーパー使用量の削減活動
7. お客様先での環境負荷低減活動
8. 生物多様性保全活動



コンプライアンス

P15~P16

正しいことを正しく行う

1. コンプライアンスの考え方
2. リコーグループの行動規範
3. e-ラーニングによるコンプライアンス教育
4. MQ-up day セルフチェック
5. 内部通報制度「ほっとライン」



情報セキュリティ

P17~P18

セキュアな社会の実現へ

1. リコーグループが目指す情報セキュリティ
2. リコー日本が取り組む情報セキュリティ



社会貢献

P19~P24

地域社会の一員として

1. リコー社会貢献クラブ・FreeWill
2. 市村自然塾 関東
3. リコー・サイエンスキャラバン
4. スタンドアップ・テイクアクション
5. 各地で取り組んでいる主な社会貢献活動
6. 東日本大震災 復興支援



人間尊重

P25~P30

企業は「人」なり

1. 元気のいい会社を目指して
2. 積極的にチャレンジする仕組み
3. ワークライフバランス
4. 人材開発の仕組み



ご紹介

P31~P34

私たちの実践事例をお客様へ

1. ライブオフィス「ViCreA」
2. リコー実践プレゼンテーション



ご挨拶

当社は 2010 年 7 月に、全国系列販売会社と（株）リコー販売事業本部機能を統合し、全国を網羅する 1 社の販売会社として発足いたしました。

私たちのビジョンの実現を目指していく中で、企業の社会的責任に関する情報開示や説明責任を果たすことも極めて重要なテーマであると認識するとともに、僭越ではございますが、私どもが取り組んでおります CSR 活動が、皆様のご参考になればという思いで、遅ればせながら、この度、当社の CSR への取り組み状況を、CSR 報告書としてステークホルダーの皆様にご紹介する運びとなりました。

昨年の東日本大震災により日本社会の価値観や行動が大きく変化をしてきたと感じており、企業は「社会から信頼される経営体質」を築けなければ存続することが許されないとの思いをあらためて強く認識いたしました。そして、その実現のためには、事業活動は当然のこと、環境や社会貢献といった幅広い領域も含めて、世の中の役に立つ価値を、誠実に提供していくことが、何よりも肝心であると考えております。

最後になりますが、当社の CSR 活動が本報告書を通し、ステークホルダーの皆様との双方向のコミュニケーションの一助となることを願い、ご挨拶に代えさせていただきます。



リコージャパン株式会社
代表取締役社長執行役員

佐藤 邦彦

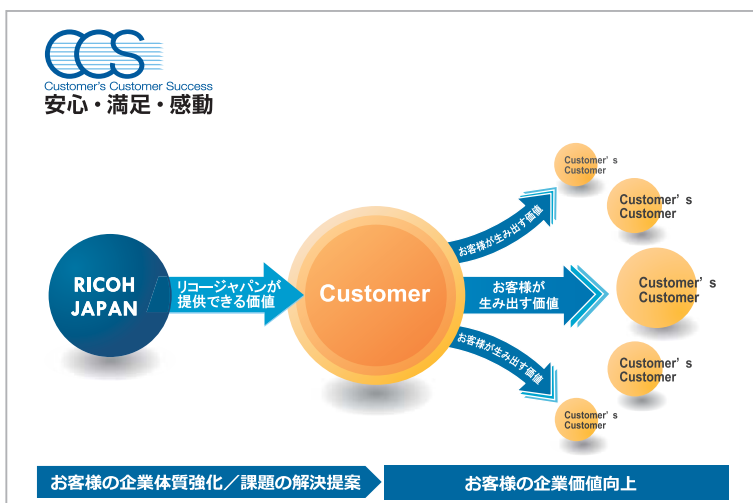
企業ビジョン

リコージャパンは、「お客様に安心・満足・感動していただく価値共創パートナーの実現」を目指しています。価値共創パートナーとは、お客様の中に身を置き、お客様にとっての価値を共に考え、共に創り、共に喜び合い、生涯お付き合いいただける最も信頼できるパートナーのことです。

企業ビジョン <i>Corporate vision</i>	お客様に安心・満足・感動していただく価値共創パートナーの実現
ビジネスコンセプト <i>Business concept</i>	Customer's Customer Success ～お客様とその先のお客様にまで届く価値を創出する～
行動様式 <i>Action style</i>	お客様起点 自主行動 スピード&チャレンジ
大切にしている考え方 <i>A way of thinking</i>	お役立ち競争の勝利者

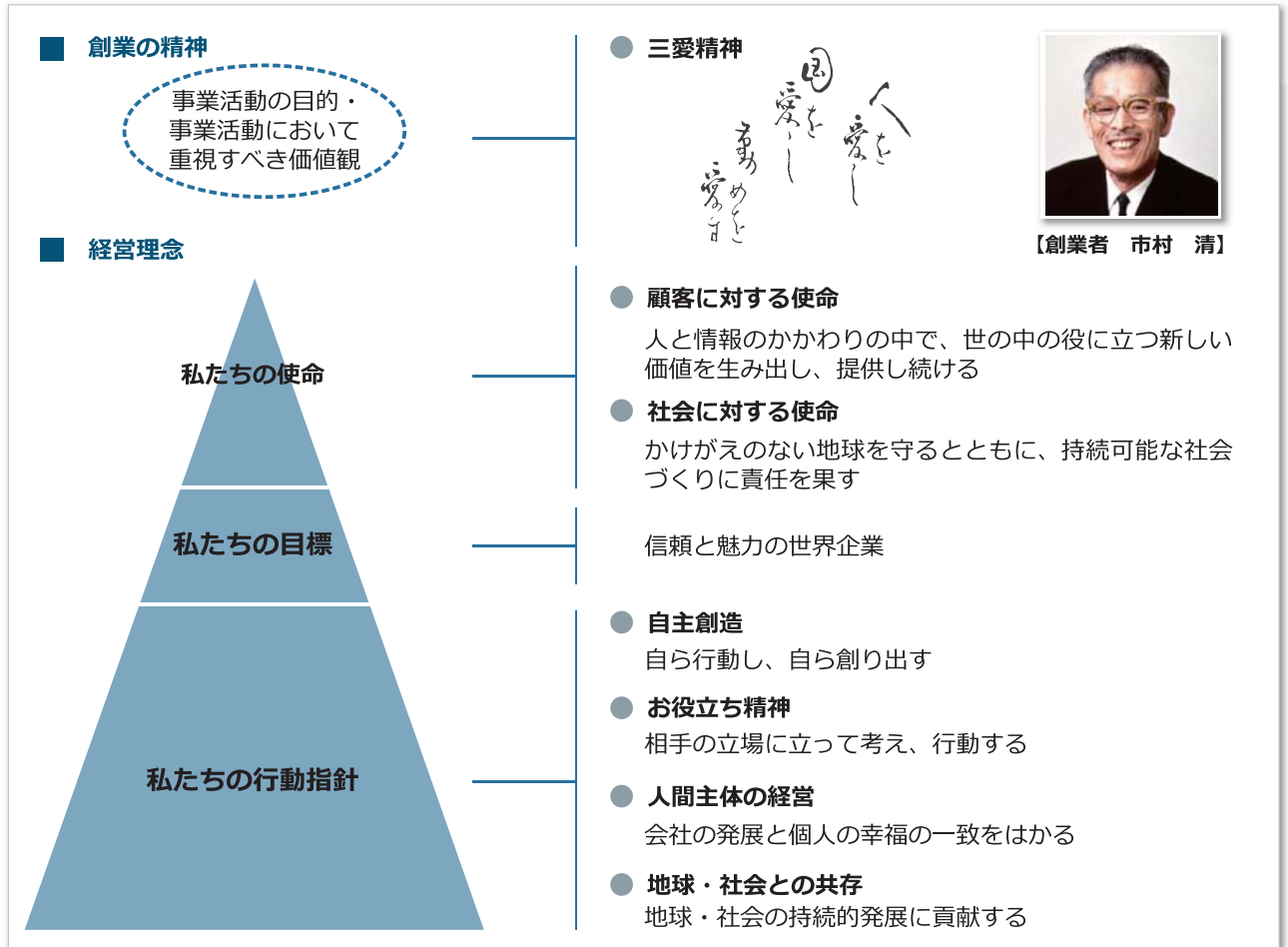
- 私たちは、お客様はもちろん、その先のお客様が何を求めているのかを知ることに努めます。
- 私たちは、自社の改善・改革の実践事例を、お客様にご提供いたします。
- 私たちは、お客様の企業価値を高める活動を全社員で行います。

私たちは、お客様に信頼される価値共創パートナーであり続けられるようベストを尽くします。

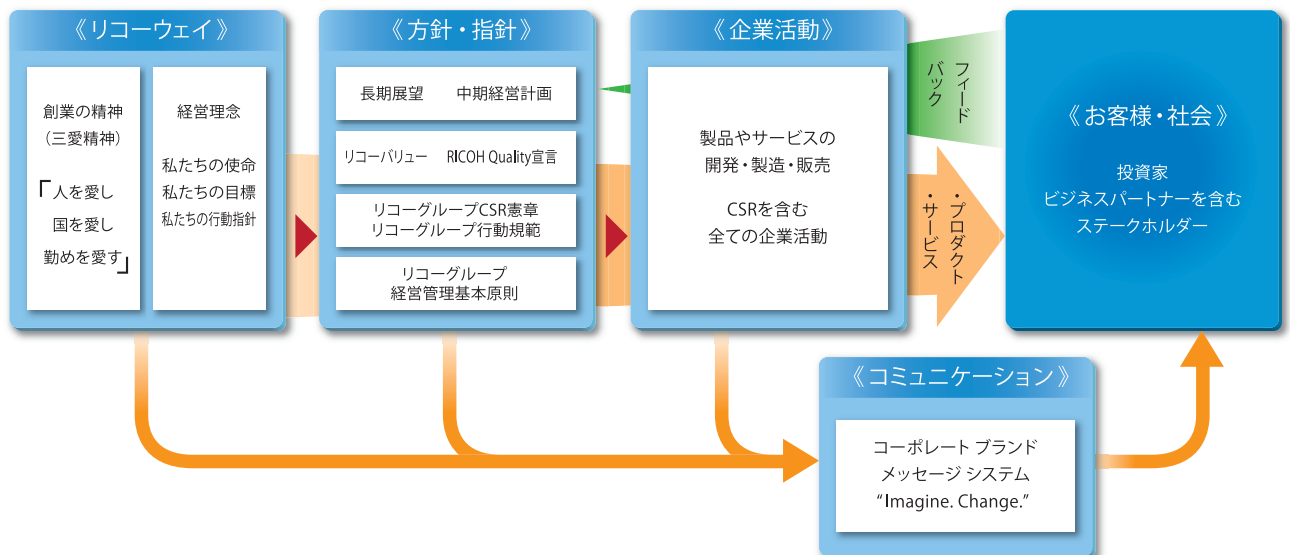


事業活動の基礎 ～リコーウェイ～

「リコーウェイ」とは、グループ内の連携を強固にし、競争力を高め、持続可能な社会の実現に向けた責任を果たすための指針で、リコーグループの事業活動の基礎となる理念・価値観（三愛精神・経営理念）です。経営計画の策定、リコークオリティ活動、CSR活動などのさまざまな活動は、「リコーウェイ」の考え方に基づいて行われます。



リコーウェイに基づく企業活動



「リコーバリュー」「リコークオリティ」の3つがバックボーンです。

リコーバリュー

リコーグループでは、自らが提供する商品・サービスに責任をもち、できるだけ多くの人々が IT の恩恵を享受して、オフィスや暮らしの環境がさらに豊かになるような社会の実現を目指し、リコーバリューに取り組んでいます。



地球にやさしい

リコーの商品・サービスを通してお客様の地球環境保全に寄与すること

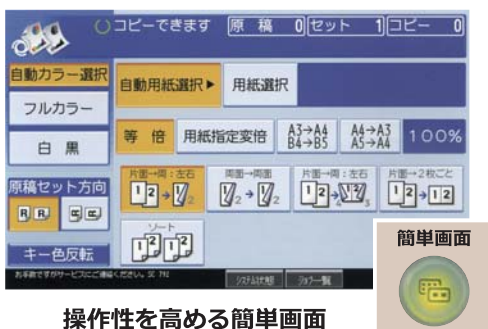
人にやさしい

リコーの商品やサービスの基本機能・性能を誰もが思い通りに使え、維持・管理できること

知識創造を簡単に

お客様自身による新たな発想・価値創造、知識労働の効率化を支援すること・お客様に役立つ知識を提供すること

【人にやさしい商品の一例】



リコークオリティ

RICOH Quality 宣言

『いつまでも安心・満足、使い続けて感動』

リコーグループは、いつの時代もお客様に信頼され、魅力ある企業グループであり続けたいと考えています。そのために、リコーグループは全ての製品・サービスの提供と価値共創のプロセスを通じて、お客様に、いつまでも安心・満足を感じていただくと共に、使い続けて感動していただく Quality を追求していきます。

RICOH Quality 宣言は、お客様との約束です。リコーグループとしてお客様の要求・期待を超えた価値を提供し、その価値を高め続けていくための、こだわり・志を明確にしました。

【RICOH Quality 向上への取り組み】

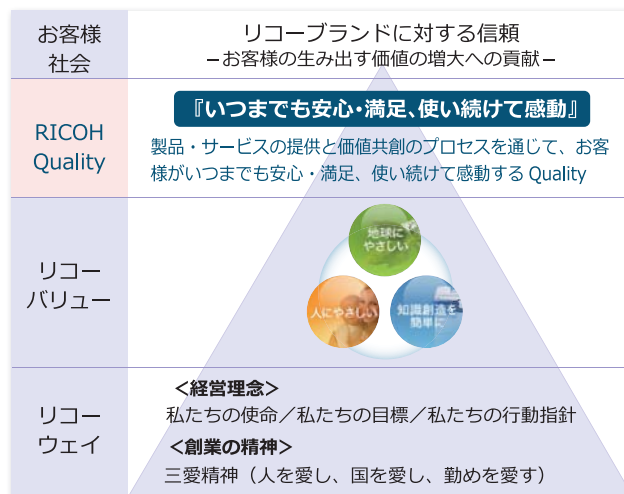
● 基本品質を強化するための取り組み

- ①法規制遵守の徹底と、社内独自基準による「製品責任（安心・安全）」の追求継続
- ②多面的な「市場品質情報管理」さらにグローバルでの品質情報管理の強化と、お客様の課題解決を行うソリューション品質保証プロセスの強化

● 新たな価値を創造する取り組み

ものづくりから販売・サービスまで一体となった、お客様の機器の活用度向上

【RICOH Quality の位置づけ】

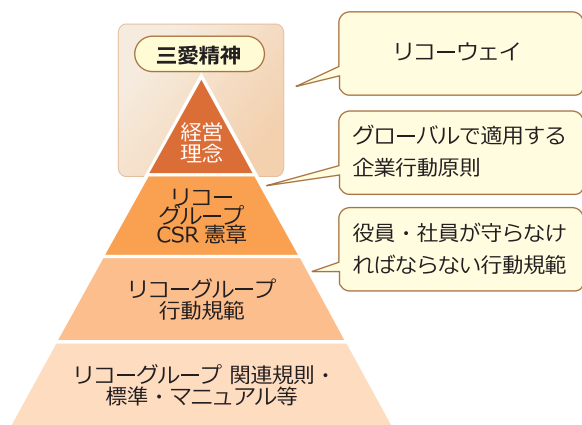


三愛精神／リコーグループ CSR の原点

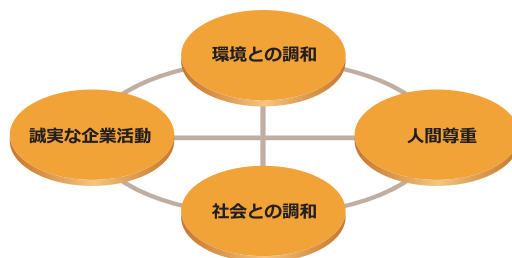
「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」

これは、リコーグループの創業者 市村清が、戦後の混乱期に国や社会に尽くし、社員が人々のために働くことと唱えた「三愛精神」です。市村清は、「人は、愛の深まりと広がりとともに、世界の全人類、すべての動植物、ありとあらゆる生き物を自分と同じように愛するようになる。」と述べています。この考えそのものが、リコーグループの CSR の原点になっています。

企業行動のフレームワーク



私たちの CSR 活動は、リコーウェイを理念とした、グループ・グローバル共有の行動原則である、「リコーグループ CSR 憲章」と、「リコーグループ行動規範」がベースとなっています。



リコーグループ CSR 憲章

リコーグループは社会から成長・発展を望まれる企業となり、経営のあらゆる側面からグローバルな視点で、「企業の社会に対する責任（CSR）」を果たすために、以下の原則に基づいて、各国の法令、国際ルールおよびその精神を理解し遵守するとともに、社会的良識をもって行動します。

誠実な企業活動

1. リコーグループの各企業は、品質・安全・情報セキュリティ・信頼性を確保し、環境への配慮および使いやすさを追求した、世の中に有用な商品・サービスを、開発し提供する。
2. リコーグループの各企業は、公正、透明、自由な競争を行うとともに、政治、行政、市民、及び団体とは、健全かつ正常な関係を維持する。
3. リコーグループの各企業は、自社の情報およびお客様の情報の適正な管理と保護を徹底する。

環境との調和

4. リコーグループの各企業は、環境保全を地球市民としての責務として受け止め、自主的、かつ積極的に取り組む。
5. リコーグループの各企業は、環境に配慮した技術革新の推進と、環境保全の継続的な活動に全員参加で取り組む。

人間尊重

6. リコーグループの各企業は、リコーグループの企業活動に関わるすべての人々の、安全で働きやすい職場環境を確保するとともに、すべての社員の、自主性と創造性の発揮できる豊かな個性を尊重する。
7. リコーグループの各企業は、関係するすべての人々の人権を尊重し、また社内における差別のない明るい職場づくりを目指す。
8. リコーグループの各企業は、強制労働・児童労働を認めず、人権侵害に加担しない。

社会との調和

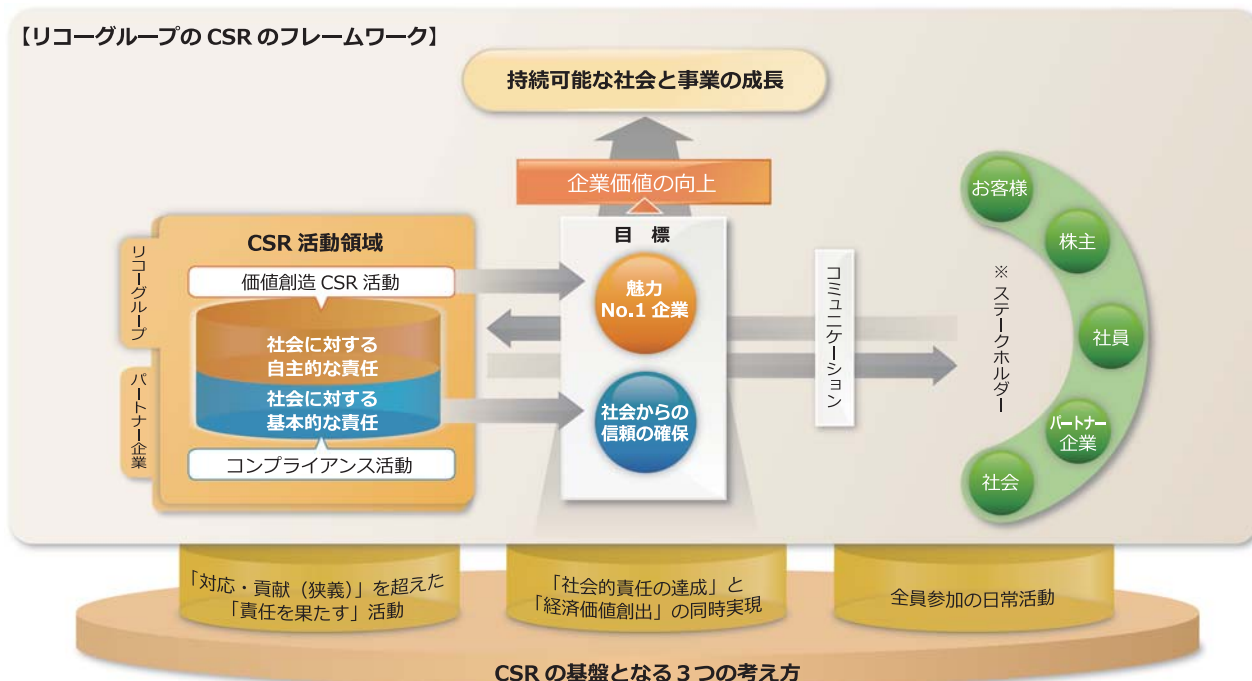
9. リコーグループの各企業は、「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。
10. リコーグループの各企業は、国または地域の文化や習慣を尊重し、その発展に貢献する経営を行う。
11. リコーグループの各企業は、広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的、かつ適切・公正に開示する。



次世代につながる持続可能な社会の実現に貢献していきます。

リコーグループの CSR の目指す姿

リコーグループは、「社会から愛され、成長・発展を望まれる企業」を目指して CSR 活動を展開しています。その活動領域は、CSR 憲章の4分野における「社会に対する基本的な責任」と「社会に対する自主的な責任」の2つの領域で、それぞれ、コンプライアンス活動と価値創造 CSR 活動と呼んで展開しています。



※ ステークホルダーとは企業の利害関係者という意味で、株主・社会・お客様・社員等、関係者全てを指します。

リコーグループの一員として（リコー日本の CSR の取り組み）

「コンプライアンス活動」は、誠実な企業活動や法令遵守等、社会に対する基本的責任を果たす活動で、お客様・社会からの信頼確保が目的です。お客様や社会から信頼されない限り、企業は存続できないからです。一方、「価値創造 CSR 活動」は、社会から歓迎されるための能動的な独自の取り組みです。誠実な企業活動展開や社会倫理に反することをしないとだけでは、文字通り、「社会に対する基本的責任」、つまり、当たり前のレベルを果たしているに過ぎません。この基本的責任を果たすのと同時に、お客様・社会に魅力を感じていただく活動を「価値創造 CSR 活動」と呼んで展開しています。

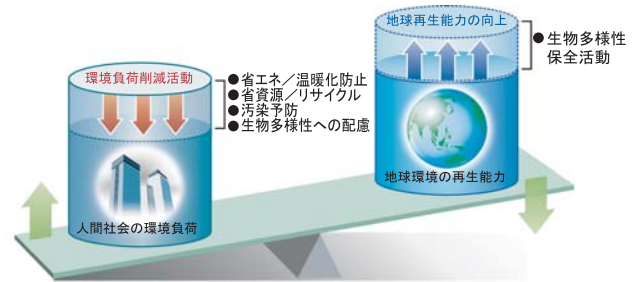
対象	社会に対する基本的責任		社会に対する自主的責任
	遵法	企業倫理	価値創造・社会貢献
環境	・環境法、条例等、法令遵守の徹底活動	・汚染防止・省エネ・省資源化に配慮した事業活動 ・CO ₂ 排出の低減活動	・植樹・植林、森林保全や、水辺の生き物保護等の、生物多様性保全活動 ・お客様先での環境負荷低減活動
地域社会	・道交法遵守や歩行喫煙・ポイ捨て禁止等の、条例遵守の徹底	・歩行喫煙・ポイ捨ての禁止 ・災害、事故等発生時の対応、支援	・清掃ボランティア・スポーツ振興、青少年健全育成 ・災害支援・寄付・商工祭等支援・FreeWill(11年8月～) ※東日本大震災復興支援
事業・顧客・社員・BP	・日本版 SOX 法・著作権法 ・個人情報保護法 etc.	・MQ-up (行動規範遵守) ・ISMS (情報セキュリティ)	・社会貢献支援制度 (環境ボランティア支援) ※東日本大震災復興支援
社員 (人権)	・労働基準法 ・労働安全衛生法 etc.	・人事諸制度、労働時間管理	

※ BP = ビジネスパートナー



リコーグループ地球環境保全の考え方

リコーグループでは環境綱領に基づき、環境保全活動と経営活動を同軸であると捉え、地球市民の使命として、自らの責任で地球環境保全に取り組んでいます。環境負荷を削減するだけでなく、地球環境の回復力を維持し、高めていくことで地球環境の保全に貢献します。



リコーグループ環境綱領

基本方針 リコーグループは、環境保全は我々地球市民に課せられた使命と認識するのみならず、環境保全活動と経営活動を同軸であると考え、自ら責任を持ち、全グループをあげてその活動に取り組む。

- 行動指針**
- 1. 高い目標** 法規制の遵守はもとより、自らの責任において、社会の期待を先取りした高い目標を設定し、その実現を通じて経済価値の創出に努めていく。
 - 2. 環境技術開発** 顧客価値を創造し、広く社会にも活用される革新的な環境技術開発をすすめていく。
 - 3. 全員参加の活動** すべての事業活動において環境への影響を把握し、全員参加で汚染予防や、エネルギーおよび資源の有効利用について継続的改善を行っていく。
 - 4. プロダクト・ライフサイクル** 商品とサービスの提供にあたっては、調達・生産から販売・物流・使用・リサイクル・廃棄に至るすべての段階における環境負荷の低減に努めていく。
 - 5. 意識向上** 一人ひとりが広く社会に目を向け、積極的な学習を通して意識向上を図り、自ら責任を持って環境保全活動を進めていく。
 - 6. 社会貢献** 環境保全活動への参画・支援によって、持続可能な社会の実現に貢献していく。
 - 7. コミュニケーション** ステークホルダーと連携した環境保全活動を展開し、積極的なコミュニケーションを通して社会の信頼を得る。

2008年2月

リコーCEO
近藤史朗

ISO 14001 認証取得

当社では、2001年にISO14001を取得し、全員参加による環境活動を進めています。活動の柱となるのが環境マネジメントシステムで、経営と環境活動を一体化し、事業活動の中に環境行動計画を取り込み活動しています。今後も環境負荷低減に向け、組織的・継続的に取り組んでいきます。



【ISO14001 登録証】 【JQA-E-70001】

環境プログラムの目標と実績

11年度は8項目の目標に対し、6つの項目で目標を達成しました。これらの結果を踏まえ、12年度も適切なプログラム・目標にチャレンジしています。

【2011年度 環境マネジメントプログラム】

プログラム	目標項目と指標	目標値	11年度実績	評価
1 新規資材・部品の投入量削減	再生複写機販売台数目標達成率	100%	112.0%	○
	使用済複合機本体回収率	93%	97.2%	○
	使用済トナーカートリッジ回収率	68%	65.7%	△
2 生物多様性保全による、地球再生能力の維持・回復への貢献	生物多様性保全活動件数 支社単位で1件以上/年	42件	36支社で200件	△
3 順法性の維持	環境法規制・同意事項の順守率	100%	100%	○
4 国内販売・保守活動のエネルギー起因CO ₂ 排出量削減	事業所系エネルギー（電力・都市ガス等）使用量削減によるCO ₂ 排出量削減率	09年度比 -2%	09年度比 -17.5%	○
	ガソリン使用量削減によるCO ₂ 排出量削減率	09年度比 -2%	09年度比 -16.3%	○
5 お客様先での紙の有効利用の促進	両面・集約利用による紙削減率	12.4%	13.3%	○



できる範囲に近づけることを目指して、環境保全活動を展開しています。

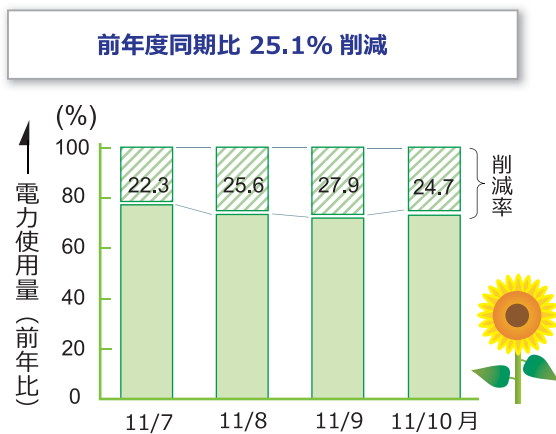
省エネ・温暖化防止活動

社員一人ひとりが意識し、オフィスでの節電対策の実施や、営業活動でのエネルギー使用量の削減といった、環境負荷低減の取り組みを実施しています。

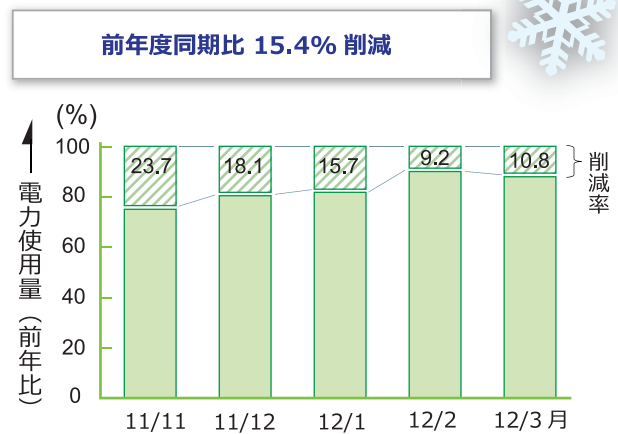
全社あげての節電対策

当社では日頃から、節電のためのさまざまな取り組みを行っていますが、2011年3月の東日本大震災発生に伴い、全社一丸となって、夏季電力量の対前年度同期比-15%削減達成に向け節電活動を実施しました。冬季もこれを継続実施し、対前年度同期比で下記の成果をあげました。

1 夏季節電実績 (11/7 ~ 10月)



2 冬季節電実績 (11/11 ~ 12/3月)



【実施内容】

項目	実施内容
空調	・夏季 28℃設定 ・冬季 20℃設定
照明	・照明器具の間引き ・照明の点灯時間の抑制 (昼休みの消灯等) ・窓際付近での消灯 ・広告塔や、リコーロゴ表示の照明は消灯
PC・OA機器等	・モニター電源 OFF ・PC、OA 機器の省エネモード設定 ・OA 機器の最適配置 (台数削減、1箇所への集中配置、1機種化)
その他	・定時退社やリフレッシュデーの推進 ・近隣階への移動はエレベーターの使用禁止 ・洗面所ジェットタオルの使用停止 ・自動販売機の照明 OFF、温度設定変更 ・ワークスタイル変革 (直行直帰) の推進

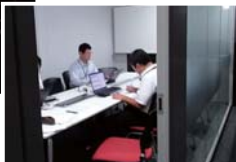


事業所独自の節電対策

首都圏営業本部（日本橋事業所）



19時以降はフロア毎に1箇所に集まっています。



関東営業本部（長岡事業所）



ゴーヤもりっぱな遮光カーテンに育ちました。

関西営業本部



従来から取り組んでいる、ビル内の階段利用をさらに推進。

関東営業本部（長野事業所）

ハイブリッドファン導入。エアコン設定温度を上げて節電効果。ファンで空気を攪拌して、涼しさを体感。



東北営業本部

節電アクションをしっかりと徹底。

東北営業本部（宮城事業所）

仙台市任命の節電武将、「漆黒の政宗」公にもご来社いただきました。



中部営業本部

申請した時間になるとポップアップが表示されて、ネットワークが切断されます。(SKYSEA 活用)

業務終了時間 15 分前 になりました。

引き続き作業をされる場合は、残業時間を申告してください。

予定残業時間: 18 時 0 分まで

首都圏営業本部（日本橋事業所）

節電とはいえ、外出後の汗ダクは一気に解消したいもの。外出後は短時間でクールダウン。暑い中、ご苦労様でした。

どなた様もご利用いただけます。

クールダウンルームの稼働は、原則として、13時～17時、暑い日の午後1時～4時（土曜・日を除く）に実施します。

本社事業所

皆さんの努力に感謝して、しっかりと節電の結果をご報告。

【2】4月度 節電状況のご報告

4月度(3/21～4/20)の8階フロア節電状況をご報告いたします。

■8階フロアの節電目標 前年実績の15%の節電

■4月度 削減電力 620kwh
削減金額 11,469円

⇒ 23%削減でもせました、ご協力ありがとうございました！

	4月度		5月度	
	実績(kwh)	金額(円)	実績(kwh)	金額(円)
前年	7,307	133,134	5,814	105,931
目標15%	6,211	114,903	4,942	90,041
実績	5,591	103,434		
削減	▲620	▲11,469		

節電にもなるリフレッシュデーでは、こんな声が ※リフレッシュデーは、27ページ参照

- 予定等が立てやすいので有り難いです。また、全社一斉なので、気兼ねなく退社できるところが良いです。今後も是非、継続して欲しいと思います。
- メリハリをつける為にも残業する日・しない日とはっきりして良いと思います。ちなみに早く家に着いたので子供たちから「会社から脱走してきたの？」って言われました・・・
- いつもの退社時間とのギャップを感じながら、寄り道で本屋を2件ハシゴしました。普段は早く帰ろうと思っていても何だかんだと仕事が入ってしまい、帰るに帰れないケースが多々ありましたので、半強制的に早帰りを行う事は個人的にもありがたく思いました。体調を整えることができ、精神的にもリフレッシュできました。



できる範囲に近づけることを目指して、環境保全活動を展開しています。

省資源・リサイクル活動

当社では事業所から排出されるすべての廃棄物を、埋め立て、及び単純焼却処分にしない「ごみゼロ」活動を推進しています。“ごみになるものを買わない・持ち込まない”という入口管理と、“廃棄物の分別・再資源化”の徹底を図っています。

個人ゴミ箱の廃止

オフィスでは座席周辺のごみ箱はゼロ。ごみ箱設置はフロアに一ヶ所が原則。古紙分別用の「リサポスト」や「分別廃棄箱」の設置で、再資源化向上を図っています。



【ゴミ箱】



【リサポスト】

ごみの実物サンプルで分別しやすく

ごみの分別がしやすいように、ごみのサンプルや写真などを掲示して、確認しながら捨てられるようにしています。



再生機（リコンディショニング機）の販売

リユース部品を使った環境配慮型の再生機の販売を促進することで、大幅な環境負荷低減を実施しています。お客様のご理解もあり、再生機の購入をご検討いただくお客様が増えています。

- ・リユース部品使用率 80%
- ・製造時のCO₂排出量 93%削減



循環型エコ包装の活用

複写機やレーザープリンターの包装材の削減に取り組んでいます。何度も繰り返し使える包装材の「循環型エコ包装」を活用することにより、段ボール・ビニール・パレットの削減を図っています。

- ・包装材廃棄 90%減



工場キittingサービスの推進

工場キittingとは、お客様の仕様に合わせて、生産ラインでオプションを工場で装着し、商品を循環型エコ包装で工場からお客様に直接お届けするサービスです。包装材の削減はもとより、お客様の使用状態に合わせてオプション装着時の動作テストを実施し出荷するため、品質が安定し、お客様先での初期セットアップ時間の短縮が可能です。

- ・輸送効率 荷姿容積で 30%減
- ・納品時間 2/3 以下！

工場キittingによる納品

リコー工場

お客様



セットアップ済み、
設置時間が短縮！

エコラックによる
梱包材の削減

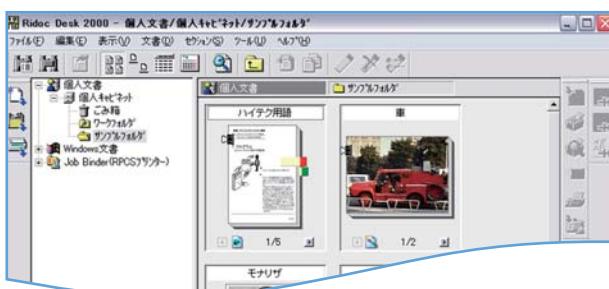


ペーパー使用量の削減活動

オフィスで使用する「紙」も、森林資源の保全と CO₂ 排出抑制という観点で、重要な省資源化の対象です。必要な書類は電子化して共有するなど、電子化ツールを活用し、紙をできるだけ使わないオフィスを目指して、環境負荷の低減を図っています。

書類の電子化やグループウェアの活用

書類をコピーする感覚で、簡単・スピーディーに書類を電子化できるリコー文書管理システム Ridoc を活用して、ペーパーレス化を促進しています。また、勤務管理や交通費精算等は、グループウェアで紙を使わずに処理。さらに、受信した FAX はプリントアウトせずに PC 画面で確認するなど、紙をできるだけ使用しないワークスタイルを展開しています。



【Ridoc の画面（電子化された書類）】



勤務管理、交通費精算等は
このアイコンから

【グループウェア「Notes」の画面】

両面／集約プリントの推進

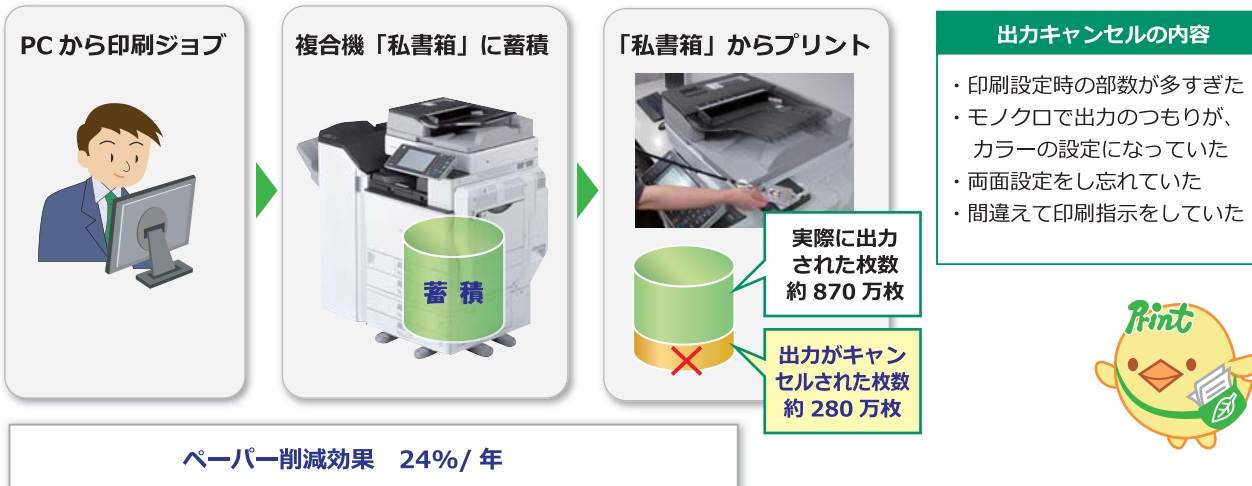
プリントアウトは、両面・モノクロ印刷をデフォルトとして設定し、紙を無駄にしない努力をしています。また印刷やコピー出力は IC カードによる認証システムを導入。紙の出力枚数や両面集約プリントの使用率などをログ管理し、ペーパーレスに対する意識を高めています。



両面・集約印刷の用紙枚数は、通常印刷の 1/4

カンタン私書箱プリント機能の活用

「imagic カンタン私書箱プリントタイプ A」を活用し、ミスプリントを減らしています。



※このデータは、実際に 1 年間のログ結果を分析したのですが、当社 MA 事業本部在籍社員と合わせ、リコー社員 2200 名が勤務しているリコー本社ビルのデータです。



できる範囲に近づけることを目指して、環境保全活動を展開しています。

お客様先での環境負荷低減活動

自社の事業活動による環境負荷だけでなく、リコー製品使用時に発生する環境負荷についても、お客様と共に削減していかなければならないと考えています。製品使用時の環境負荷の、「見える化」を通じた提案活動により、お客様先での環境負荷削減にも努めています。

CO₂ の見える化を通じた環境負荷削減活動

お客様の機器のご使用状況を分析し、CO₂ 削減効果を「見える化」してご提示することで、リコー製品の環境負荷削減機能を積極的にご活用いただく活動を展開しています。「@Remote ご使用状況報告書サービス」は、独自の遠隔サポートサービス @Remote を通じて収集した製品の利用状況データから、消費電力量や紙使用量を試算し、それらを CO₂ に換算した結果をご報告するサービスです。2011 年度は、両面・集約プリントを活用していただくことにより、従来の 13% の用紙を削減できました。

■ @Remote ご使用状況報告書サービス例

【省エネモード等の利用時間】			【消費電力量 / CO ₂ 排出量】		【用紙の両面 / 集約利用状況】		
機種名	MPC4500	MPC4500	①消費電力	818 kwh	機種名	MPC4500	MPC4500
機番	111111	111112	②CO ₂ 排出量	454 kgCO ₂ ⇒ 32 本	機番	111111	111112
設置部門名	本社〇階	本社〇階	a. 消費電力から試算 (想定値) 立ち木換算	691 kgCO ₂ ⇒ 49 本	設置部門名	本社〇階	本社〇階
データ取得月日	12月1日	12月1日	b. 用紙出力から試算 (想定値) 立ち木換算		データ取得月日	12月1日	12月1日
稼働状況別時間 (分)	稼働モード	1,422			出力面数合計	16,426	15,189
	レディモード	15,335			両面		
	パネルオフ	2,690			両面出力枚数	2,880	2,562
	低電力モード	1,381			両面使用率	17.53%	16.87%
	スリープモード	22,344	21,516				
					片面→両面 (面数)①	260	161
					左右ページ (見開き)	0	0
					片面→両面 (面数)③	316	266
					集約		
					片面集約 (枚数)	174	180
					両面集約 (枚数)	63	104
					ミニ本集約 (枚数)	6	0

※ @Remote とは、オフィスのリコー製プリンターや複合機器をインターネット回線を使ってリモート管理するサービスです。ご使用状況報告サービスのほか、遠隔診断保守サービス、カウンター自動検針サービス、トナー自動配送サービスなどをご提供しています。お申込は当社営業担当者にお問い合わせください。

お客様とともに進める環境負荷削減活動

当社では、①再生機販売や国内工場でのキittingなどによる「環境負荷の少ない製品・サービスの提供」、②CO₂ 見える化を通じた「リコー製品使用時のお客様の環境負荷削減提案」、③使用済機器・容器等の回収サービスによる「資源の有効利用による環境負荷削減」の3領域で、お客様の環境負荷削減を支援する販売活動を展開しています。

【お客様の活動に関連した環境負荷を低減する製品・サービス】

お客様の活動	お客様のニーズ	製品サービスと貢献内容
選ぶとき	環境にやさしい製品を購入したい	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ機器、再生複写機 バイオマストナー 循環型エコ包装による梱包資材削減
	消費電力や紙の使用実績を一括管理したい	<ul style="list-style-type: none"> @Remote ご使用状況報告書サービスによる CO₂ の見える化
使うとき	紙の使用量を減らしたい	<ul style="list-style-type: none"> 両面機能 /Scan to E-mail & Folder/ ペーパーレス FAX による紙削減 デジタルオンデマンド印刷による印刷物の在庫削減
	消費電力を減らしたい	<ul style="list-style-type: none"> 省エネモードの活用
戻すとき	使用済み製品をリサイクルしたい	<ul style="list-style-type: none"> トナーボトル / インクカートリッジの回収 使用済み機器の回収



生物多様性保全活動

人間社会は生物の多様性がもたらす恩恵を享受する一方で、社会からの排出物が、地球の再生能力をはるかに超える環境負荷をかけ、このままでは人間社会の存続が危ぶまれています。私たちは、一刻も早く、この環境負荷を削減していかねばならないという認識のもと、2009年3月に制定された、「リコーグループ生物多様性方針」に基づき、さまざまな「生物多様性保全活動」を展開しています。また会社が、交通費やボランティア保険の費用を負担することで、環境ボランティア活動を支援しています。

リコーグループ生物多様性方針

社会は豊かな地球環境によって生まれ、その地球環境を支えている多様な生き物の営みが衰えつつあるという認識のもとに生物多様性方針を掲げる。

- 基本方針** 私達は生き物の営みによる恩恵を得、生物多様性に影響を与えながら事業活動を行っているという事実を踏まえ、生物多様性への影響を削減するとともに、生物多様性保全に貢献する活動を積極的に行う。
- 1.経営の課題** 生物多様性保全を企業存続のための重要課題のひとつと捉え、環境経営に組み込む。
 - 2.影響の把握と削減** 原材料調達を含む事業活動全体における生物多様性への影響の評価、把握、分析、数値目標化を行い、その影響の継続的な削減に努める。
 - 3.進め方** 生物多様性と事業の視点により、影響・効果の高い施策から優先して取り組む。
 - 4.技術開発の促進** 持続可能な社会の実現を目指して、生物資源を利用する技術開発、生態系の仕組みや生物の成り立ちに学び、その知恵をいかした技術開発・生産プロセス革新を推進する。
 - 5.地域との連携** 世界に残る貴重な生態系と、事業を行う国・地域の生物多様性を保全する活動を、行政機関のみならず、地域住民、NGOなどステークホルダーとともに、持続可能な発展の視点をもって推進する。
 - 6.全員参加の活動** 経営者の率先した行動と全社的な啓発施策により、すべての社員の生物多様性への理解と認識を高め、自主的な保全活動につなげる。
 - 7.環の拡大** お客様、仕入先様、他の企業、NGO、国際組織などと連携した活動により、生物多様性についての情報・知見・経験を共有し、生物多様性保全活動の環を広げる。
 - 8.コミュニケーション** 自らの活動、成果の具体的内容を積極的に開示することにより、社会の生物多様性保全活動の気運向上に貢献する。

※NGO=Non Governmental Organization(非政府組織)



広島

広島市北部に位置する権現山憩いの森での、下草刈り、間伐活動です。



佐賀

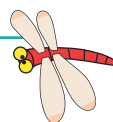
佐賀市との調印で保全活動を行っている「どんぐりこ〜の森」で、下草刈り、枝打ち、植樹活動を実施。7回目の活動となりました。



徳島

徳島県立神山森林公園。年2回下草刈り、枝打ち等を実施しています。感謝の印として、神山町に看板を設置していただきました。

こんな活動にも参加しています



衰えつつあるという認識のもと、生物多様性保全活動に取り組んでいます。



石川

2

能登半島大呑地区山間地の耕作放棄地を、棚田に再生して里山復元。環境保全功労者として、2010年度の知事賞に輝きました。



北海道

3

支笏湖畔での、下草刈りボランティア活動です。支笏湖畔での森林再生ボランティアは、6年目の取り組みになります。



山形

4

山形市蔵王山田地区古竜湖周辺の下草刈り実施は4年目を迎えました。米沢地方森林組合の方の、器具の使用方法や下刈り対象樹木の見分け方等、ためになるお話が聞けました。

2011年度
活動件数 200件

※社員が3名以上参加した活動



群馬

5

利根川源流森林整備隊と一緒に、みなかみ町藤原地区、140ヘクタールの山林内を、チェーンソーを使い、間伐・伐採しました。



和歌山

8

和歌山市花山うらくらぶ。伐採した竹を粉碎機でチップ化。チップは肥料となり、カブト虫やカナブン等の幼虫が育ちます。



愛知

7

毎年花火見物等、多くの市民が集まる岡崎市の菅生川河川敷。今年は約70名が参加して、環境保全活動を実施しました。



千葉

6

2004年から活動している「千葉ふれあいの森保全会」に社員やOBとその家族が参加して、間伐作業と恒例の餅つきを行いました。



定光寺ほたるの里
愛知県瀬戸市



トンボと水辺環境造成
愛知県江南市



あゆの産卵場造成
愛知県名古屋

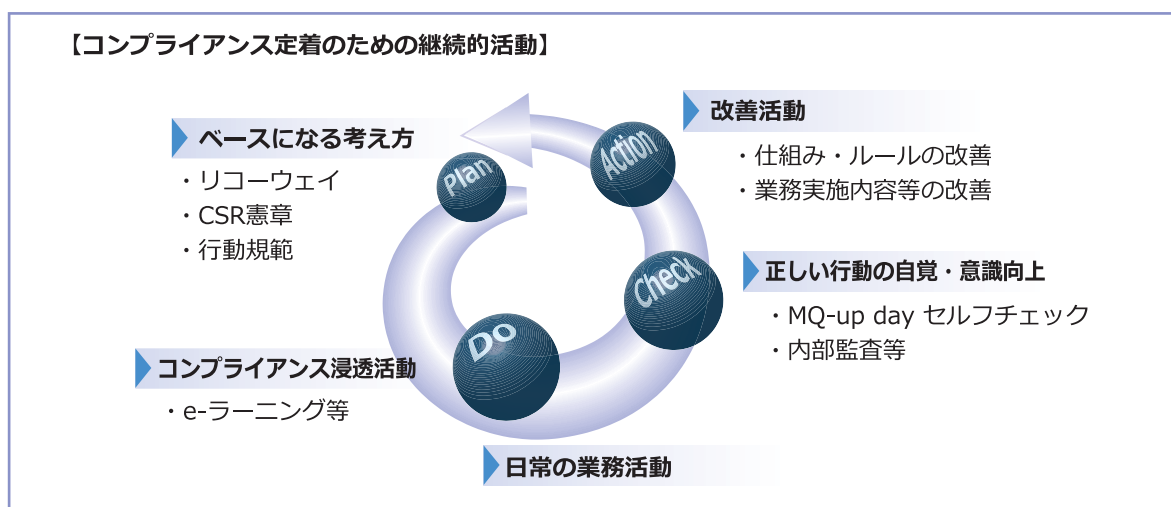


コンプライアンスの考え方

リコーグループでは、コンプライアンスを法令だけではなく、社会的な良識や社内ルールに従って適切に行動することを含めてコンプライアンスと呼んでいます。

企業は利益を追求した活動を行うことを目的のひとつとしていますが、法令に反する行為や、社会的に受け入れられない行為によって利益を得ることは、社会の一員として決して許されることではありません。

私たちは永年かけて蓄積した「信用」を、いつまでも守り続け、高い倫理観を保持していくためにコンプライアンス活動を展開しています。グループ共通の行動規範を定め、コンプライアンスの浸透や、社員意識向上の継続的な活動を実施し、日常の業務活動に定着する風土づくりに取り組んでいます。



リコーグループの行動規範

リコーグループが企業活動を展開していくにあたって、法令を遵守し、社会倫理に従って行動するというはもとより、社会との調和・共存という観点から、リコーグループの役員、および全ての社員が心がけ行動する規範となるのが「リコーグループ行動規範」です。この行動規範をコンプライアンス活動の中核として信頼される企業を目指しコンプライアンス確立のため様々な取り組みを実施しています。

誠実な企業活動

- ① お客様の立場に立った商品・サービスの提供
- ② 自由な競争および公正な取引
- ③ インサイダー取引の禁止
- ④ 企業秘密の管理
- ⑤ 接待、贈答などの制限
- ⑥ 公的機関との取引および政治献金の取り扱い
- ⑦ 適正な輸出入管理
- ⑧ 知的財産の保護と活用
- ⑨ 反社会的行為への関与の禁止
- ⑩ 会社の利益と対立するような個人の行為の禁止
- ⑪ 会社資産の保護

環境との調和

- ⑫ 地球環境の尊重

人間尊重

- ⑬ 基本的人権の尊重

社会との調和

- ⑭ 社会貢献活動の実践
- ⑮ 社会との相互理解



「リコーグループ行動規範」をいつでも確認出来るように、携帯用の小冊子や、グループウェア（Notes）の電子掲示板を用意しています。さらに年1回、e-ラーニングを用いて、リコーグループ行動規範の振り返りを行い、改めて役員、及び全社員が「誓約書」に署名して、代表者に提出しています。



目指し、地道な活動を展開しています。

e-ラーニングによるコンプライアンス教育

行動規範やコンプライアンスについて、それぞれの立場に応じたさまざまなコンプライアンス教育を実施して意識の向上を図っています。インターネットからでもアクセスできる利便性の高い環境を準備し、映像や音声を取り入れた学習効果の高いコンテンツが提供され、全社員が自分のスケジュールに合わせて学習しています。

コンプライアンス教育プログラム

- 行動規範教育
- コンプライアンス 基礎編
- コンプライアンス マネジメント編
- 知らなかったでは済まされないインサイダー取引



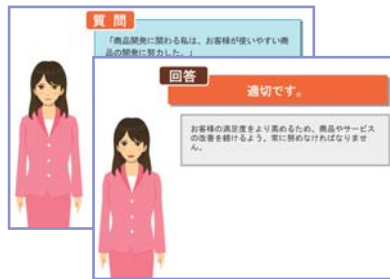
e-ラーニングは、大きくは全社員必須と選択性のプログラムを準備しています。必須のものは、期限までに対象者が受講完了するよう、受講状況が確認できる教育推進者用メニューを活用しています。

「行動規範教育」のe-ラーニング画面紹介

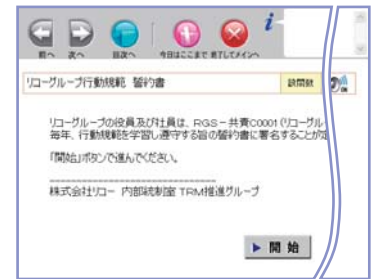
1 e-ラーニングスタート画面



2 本編学習中



3 最後に行動規範遵守を誓約



MQ-up day セルフチェック

MQ-up day セルフチェックは、全社員が毎月1回行うセルフチェック活動です。「MQ-up」とは、「Management Quality-up」の頭文字を取った造語です。社会的問題になっている、飲酒運転やモラル欠如問題に加え、お客様相談室に寄せられた声や、社内での問題を題材に、自分自身の行動を振り返り、正しい行動を自覚する取り組みです。

- 目的：・企業倫理を含むCSRの継続研鑽を通じて経営品質の向上に資する
 ・社会の一員として法令・ルール・マナーを遵守できる人材育成と組織風土の醸成
- 特徴：・役員、一般社員、派遣社員も含め全社員が毎月初に実施
 ・解答を誤った社員に対しては、正しい解答に導くため、組織長がマネジメントを実践



【コンプライアンス】についてセルフチェックをお願いします。

リコーグループでは『コンプライアンス』を、法令だけでなく、社会的な良識や社内ルールに従って適切に行動することを含めて、『コンプライアンス』と呼びます。つまり、一般的な意味より広い考え方を指しています。日本OSでは以下の基本行動規範を定め、従業者の遵守・実践を求めています。

1. 法令、会社の規則、業務ルールに反する行為は行いません。
2. 談合等、取引や入札の公正を害する行為は行いません。
3. 他人の著作物の違法な複製、改変行為等を行いません。
4. 取引に際しては、検理に反する言動は行いません。

○ [A] 行動規範をよく理解しており、今後も遵守・実践をしていきたい。
 ○ [B] 行動規範があるのは知っているが、今後も項目全てを遵守・実践するつもりはない。

- 【セルフチェック内容】
- ・法令遵守
 - ・リコーグループ行動規範
 - ・情報セキュリティ
 - ・環境保全
 - ・社内ルール・マナー等 (毎月10問程度)

内部通報制度「ほっとライン」

リコーグループほっとライン窓口（㈱リコー内部統制室、社外（専用受付会社））と、リコージャパンほっとライン窓口（RJ人事部門）の3ヶ所の窓口を開設し、社員から相談・通報ができるような仕組みを整えています。リコーグループ行動規範に違反する、または違反する恐れのある行為が行なわれていることを知ったときは、「ほっとライン」を通じて、相談・通報するようになっています。

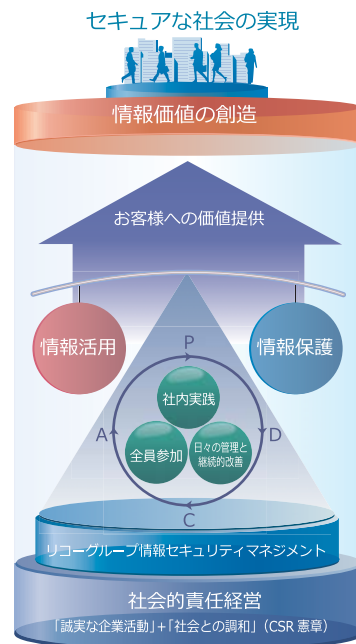


リコーグループが目指す情報セキュリティ

リコーグループは、グローバル情報社会の一員として情報活用の有用性を促進する事業活動を行っています。その中で、情報セキュリティはお客様に安心してご利用いただける商品・サービスを提供していくための不可欠な要素として位置づけ、お客様の個人情報を含む全ての情報資産の重要性を認識し、情報セキュリティマネジメントシステムの確立を推進しています。これにより、法令遵守を基本とした企業倫理の更なる向上と、情報社会における安全性・信頼性の確保を目指します。

活動のベースとなる3つの考え方

- | | |
|--------------|---|
| ①全 員 参 加 | 役員から一般社員はもとより、協力会社など、パートナーの方々を含む全従業員で取り組む。 |
| ②日々の管理と継続的改善 | 各層のマネジメントレベルで PDCA のサイクルを回して、継続的改善に取り組む。 |
| ③社 内 実 践 | 自社の情報セキュリティ商品・ソリューションを、自らの情報セキュリティレベル向上に役立てながら、その有用性を確認し、上手な使い方のノウハウ蓄積や製品・サービスの改良に取り組む。 |



リコージャパンが取り組む情報セキュリティ

情報セキュリティに関する基本方針

ISMS を構築・運用していくための経営者としての声明－情報セキュリティポリシー（基本方針）－は、次の通りです。私たちは、事業で活用するさまざまな情報資産を、適正に管理して活用いたします。

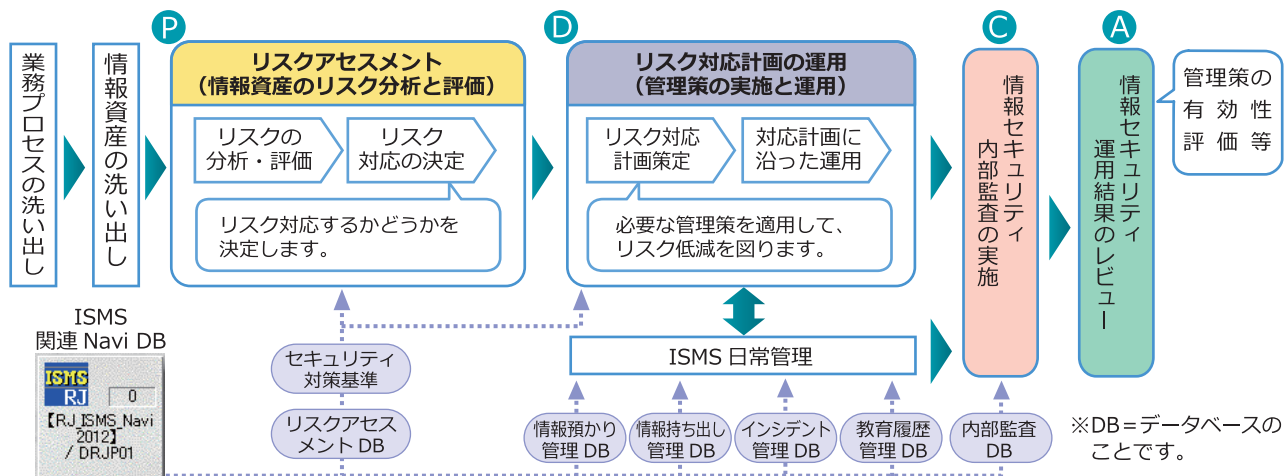
基本方針

I nformation S ecurity M anagement S ystem

リコージャパン株式会社は「お客様に安心・満足・感動していただける価値共創パートナーの実現」を通じて、お客様が期待する以上の価値を提供できる会社になることを目指しています。それを実現する為に、お客様の情報を含む全ての情報資産の重要性を認識し、適正な情報セキュリティマネジメントシステムを効果的・効率的に運用します。また、法令及び社会規範の遵守を基本とした情報資産の安全性・信頼性の確保を行います。さらに、情報セキュリティマネジメントシステム構築における実践を通じて得たノウハウでお客様の要望・期待に応え、最適なソリューションをご提供します。

ISMSの運用イメージ

情報セキュリティの基本方針に則って、ISMSの運用プロセスを確立しています。全体の運用イメージは下図の通りです。これらの運用は年間サイクルで PDCA を回しており、その殆どを Notes DB を活用して運用しています。



実現を目指しています。

リスク対応策の実践事例

1 お客様情報をお預かりする際のルール

お客様の機密情報・重要情報は、原則としてお預かりしないことになっていますが、業務上やむを得ずお預かりする場合は、下記のフローで運用管理しています。



2 情報の持ち出し管理と取り扱いについて

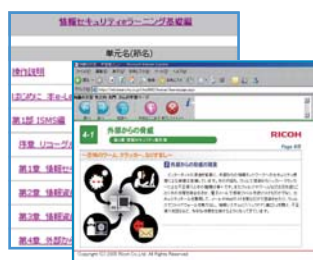
情報資産の持ち出しは原則禁止としています。やむを得ず持ち出す際は、情報持出管理 DB で事前申請し、上司の承認を得て持ち出します。社外秘以上の情報をモバイルPC等で持ち出す際は、ハードディスクパスワードや BIOS パスワード、暗号化ソフト等のセキュリティ対策を実施し、持ち出し中は、情報が保管された媒体、または紙を体から離さず持ち歩くようにしています。

3 インシデントに対する取り組み

事件・事故（インシデント）が発生した場合、速やかに上司に報告し、お客様への対応を図ります。また、対応結果報告と再発防止策を DB に登録する仕組みになっており、放置するとインシデントに繋がる事象・弱点も積極的に報告します。情報を共有することでルールの徹底をはかりながら、インシデントの未然防止に役立っています。

情報セキュリティ教育

情報セキュリティ対策には、社員一人ひとりが情報活用に伴うリスクを認識して、自分の仕事を改善していく必要があります。そこで「情報セキュリティ教育」に力を入れ、全社員の意識とスキルを高めています。



【情報セキュリティ e-ラーニング】



【ISMS ハンドブック教育】

内部監査とマネジメントレビューの実施

内部監査は、ISMS の適合性や有効性を確認するため、定期的を実施しています。リスクアセスメント結果や、教育、日常ルールなど、セキュリティにおける強み弱みを明確にし、監査結果に対しては是正・改善することでリスク低減と、セキュリティレベルの向上を図っています。

当社の内部監査の特徴として、監査員が被監査組織と同じ目線に立つことによって、新たな「気づき」を発見・共有する場となっています。

一年間の ISMS 活動における重要な情報は、マネジメントレビューとして経営陣に報告します。また、トップからの ISMS 方針を受け、翌年度の施策を展開しています。

目的 = ISMSの適合性・有効性確認

「気づき」の監査による効果

- ・潜在的リスクの炙り出し
- ・新たなセキュリティホール発見
- ・業績向上に対する寄与



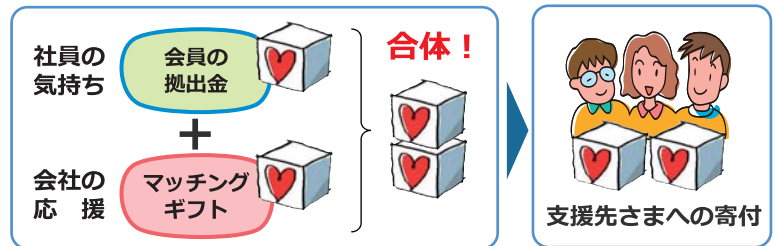
リコー社会貢献クラブ・FreeWill

リコー社会貢献クラブ・FreeWillは、社員主導の草の根支援組織で1999年にリコーからスタートし、徐々にグループ会社へ広がりました。当社では、2010年7月のリコージャパン発足後、2011年8月から全社としての運用を始めました。会員の毎月の給与と賞与の端数で集められた「会員の拠出金（社員の気持ち）」と、会社からの拠出金「マッチングギフト（会社の応援）」で集められた活動資金を、さまざまな分野で社会的課題解決の為に活動しているNPO・NGO等の団体に寄付したり、社会貢献活動に活用しています。2012年3月時点での、リコーグループ全体での会員数は8,255名になり、活動開始からこれまで366の団体に総額で約1億円を支援してきました。

制度の概要

項目	内容
参加方法	・入会も退会も社員の自由意思
拠出方法	・毎月の給与の端数 100円未満 ・年2回の賞与の端数 1,000円未満
支援先の決定方法	・広くリコーグループ社員から募集し、会員の代表で構成される運営委員会での選考を経て決定されます

活動資金



【2011年度支援実績】

寄付支援団体	47団体	17,460千円
災害支援金（東日本大震災）		5,080千円
支援金総額		22,540千円

感謝の声 第50回支援先

一般社団法人 PARACUP 代表 森村 ゆきさん

わたしたちは、「参加した誰もが楽しめるチャリティ」として、マラソン大会を開催した収益金で多くの子どもたちや被災地の支援をしてきました。今回ご支援いただいた、FreeWillをはじめとした皆様にご賛同いただくことで、世界の子どもたち及び東北の方々をサポートすることができ感謝しております。今後も、皆さんに楽しんでもらいながら参加できる大会を企画していきます。



学生時代にフィリピンへボランティア活動に行ったことがきっかけで、PARACUPの前身となる団体の存在を知りました。入社後もボランティア活動を続ける中、FreeWillから寄付申請できることを知り、今回申請しました。日頃自分が取り組むボランティア活動に会社の仕組みを使って支援することができ、大変うれしく思います。



申請者

MA事業本部 佐々木 亜由さん

市村自然塾 関東

創業者 市村清の生誕100周年を記念して、2002年に神奈川県に設立した施設です。ここでは、“生きる力を大地から学ぶ”を基本理念に、「農作業を中心とした自然体験活動」「異年齢の子ども達の共同生活」を通して、自然の尊さ、感謝の心、自立心、責任感、協調性など、子ども達の成長を育てています。2011年に10周年を迎えた自然塾は、これまでに500名ほどの子ども達が巣立っています。当社は賛助会員として運営に協力しています。



生きる力を大地から学ぶ

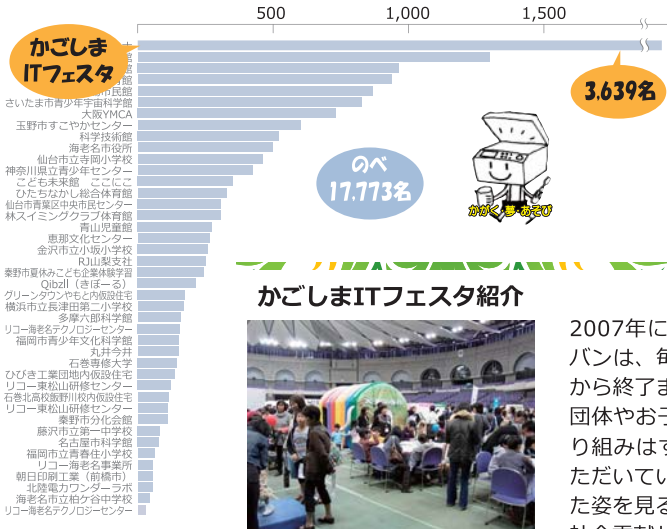


社会の一員として、積極的にさまざまな社会貢献活動を展開しています。

リコー・サイエンスキャラバン

科学の面白さを体感することで理科や科学に関心をもつ子どもたちを育むプログラムです。コピーの原理を体験する「コピー機になってみよう」や、複合機のスキャナー機能を活用し、子供達が描いたモンスターを戦わせる「熱闘！紙バトラー」などを全国各地で開催しています。2011年度は全国42箇所を訪問し、のべ17,773人の子どもたちが体験しました。当社からも運営をサポートするボランティア237名が自主的に参加し、子どもたちとの交流を図りました。

リコー・サイエンスキャラバン プログラム体験者実績データ（2011年度）



キャラバン隊が、あなたの街へ!



かごしまITフェスタ紹介



2007年に鹿児島市からの要請を受けスタートしたサイエンスキャラバンは、毎年一番人気のプログラムです。4回目となる今回も、開場から終了まで、途切れることなく体験者で賑わいました。出展企業・団体やお子さまと一緒に来場された保護者の方々からも「リコーの取り組みは素晴らしい!」とお褒めの言葉をいただいています。子どもたちの生き生きとした姿を見ると、自分たちの取り組みを通じて社会貢献ができていると実感できます。



九州営業本部 (鹿児島) 中村 明人さん

- ・ 11年12/2 (金) ~4 (日)
- ・ 鹿児島アリーナにて実施



スタンド・アップ テイク・アクション

2015年までに貧困を半減するなど、8つの目標を国連で宣言したミレニアム開発目標。世界のリーダーたちに目標達成を働きかける世界同時イベント「スタンド・アップ テイク・アクション」に賛同し、2011年は、2,695名の社員が立ち上がりました。

ミレニアム開発目標(2000年国連で採択)

- 目標 1 とてつもない飢えをなくそう
- 目標 2 みんなが学校に通えるようにしよう
- 目標 3 ジェンダの平等を進めて女性の地位を向上させよう
- 目標 4 子供の死亡率を下げよう
- 目標 5 女性が健康な状態で妊娠し、子供を産めるようにしよう
- 目標 6 HIV/エイズ、マラリア、その他の病気が広がるのを防ごう
- 目標 7 環境の持続可能性を確保しよう
- 目標 8 世界の一員として、先進国も責任を果たそう

貧困のない
世界の実現に
向けて



各地で取り組んでいる主な社会貢献活動

地域美化活動

ごみのない美しい町に。全国津々浦々で、町の美化に取り組んでいます。町がきれいになることで、仕事にも気持ちよく取り組めます。地元の人からも声をかけられ、コミュニケーションの輪も広がります。



福岡 遠賀川クリーンキャンペーン
猛暑の中やったが、熱中症には負けまっしえん。



鳥取 11/9/25 秋の鳥取砂丘一斉清掃活動
グループ会社共同で28名が参加。総勢3,500名で1tのごみ回収。



秋田 事業所周辺清掃活動



札幌 石狩浜清掃活動
札幌近郊の、海水浴やキャンプに利用される浜です。



沖縄 クリーンビーチキャンペーン



広島 11/7/23 佐伯区河川クリーンキャンペーン
川に入っの作業じゃが、気持ちよってきたんじゃ。



埼玉 春日部クリーン作戦



うちなーで、わんもチバティるよ〜。



街がきれいになると気分がいいです。仕事も、いつも以上にやる気が出てきます。



東京 日本橋を洗う会
カンパンにも放水して。皆さん、ピッカピカに磨こうぜ〜。



ウチら、路上広告物撤去、「かたづけ隊」でおまんねん。

大阪 大阪市建設局認定の広告物撤去。



毎回大量の戦利品です。駅からゴミを拾いながら参加するツワモノもいます。(笑)



香川 高松マイロード美化活動
2009年に国土大臣賞を受賞した活動です。継続こそ力です。



愛知 郷土美化合同奉仕活動
182名の入海戦術の結果、30分でおしゃれな公園復活。



静岡 11/9/17 大浜海岸清掃活動
台風12号の影響で流木散乱と雨の中、54名が参加しました。



社会の一員として、積極的にさまざまな社会貢献活動を展開しています。

献 血

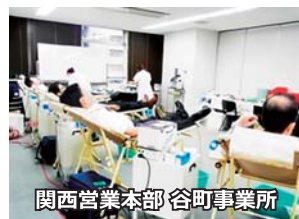
2011年度も各地で献血活動を実施しました。



東北営業本部 仙台五橋事業所



関東営業本部 宮原事業所



関西営業本部 谷町事業所

収集ボランティア

1 ペットボトルキャップ収集

多くの市民や企業が取り組んでいる、使用済みペットボトルキャップ収集。「捨てたらゴミ、集めればリサイクルとワクチン」が各事業所でも定着してきました。



2 アルミ缶収集と車椅子寄贈



茨城

茨城支社で12年目を迎えるアルミ缶回収と車椅子寄贈。2011年度の収益金で購入した車椅子は境町社会福祉会館様に寄贈しました。

3 リングブル収集



福岡

福岡で2005年度から始めたリングブル回収。2011年度もリングブル再生ネットワーク様に発送しました。再生資源は車椅子寄贈に役立てられています。

4 リコーFreeWill 収集ボランティア

使用済プリペイドカード、使用済切手、未使用切手・書き損じ葉書・未使用葉書を収集して、「リコー社会貢献クラブ・FreeWill事務局」に送ります。収集物は支援団体を通じ、開発途上国支援に活用されます。



イベント支援

毎年夏に開催される、「釧路湿原全国車いすマラソン大会」。大会の設備設営や経過情報の報告、順位確認や、GJプリンタを持ち込んでの表彰状作成など、釧路のメンバーがパワフルに大会をサポートしています。



釧路



大阪

ラグビー部全員でのチャリティラン・ボランティア。会場設営、警備、タイム測定等を担当しました。

次世代を担う子供たちへの体験学習会

社員だけではなくお客様やご販売店への水平の広がり、次世代を担う子供たちへの垂直の広がりにも取り組んでいる環境教育活動。神奈川支社では東日本大震災が起こったこともあり、「環境&災害時対応」のプログラムで実施しました。「廃油ローソク」や「ツナ缶ランプ」「紙袋での目玉焼き」等の実験に、参加した子供たちも興味津々でした。



神奈川



廃油でローソク



ツナ缶ランプ



焼杉工作

東日本大震災 復興支援

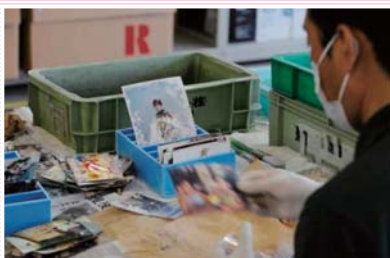
リコーグループでは、災害発生後直ちに被災地支援に対する基本方針を確認するとともに、組織的な支援活動に着手いたしました。現地の対策本部への支援金として計2億円を拠出するとともに、緊急支援物資として水・食料・生活必需品・リコー製品（デジタルカメラ：防塵・防水・GPS機能付き機種、GJプリンタ：バッテリーで駆動できる機種など）を速やかに被災地へ提供しました。また、社員をボランティア派遣するなど、会社と社員が一体となった支援活動を実施しています。当社では、被災した地域の対策本部（自治体、関係各省庁、水道・電力・ガス等のライフライン）、および公共施設に複合機の無償貸し出しを実施いたしました。

セーブ・ザ・メモリー・プロジェクト 思い出の写真届けます。



「セーブ・ザ・メモリー プロジェクト」とは、各地方自治体と連携し、被災地で回収された写真を洗浄、スキャンして、写真原本とともに被災者にお渡しする活動です。宮城県南三陸町、女川町、岩手県陸前高田市に写真センターが開設されており、各写真センターに設置されたパソコンからリコーのオンラインストレージサービス（クラウド）「quanp」を利用して写真を閲覧いただき、持ち主がわかったものから、写真の原本とそのデータをお渡ししています。写真センターに訪れた方からは、「大切な1枚を見つけることができました。」「このようなシステムを作っていただいて本当にありがとうございました。」といった感謝の言葉が寄せられています。2012年4月以降は、本サービスをパッケージ化し、宮城県亘理町を皮切りに、沿岸部の自治体に提供しています。

写真の手洗い



写真のスキャン（名取市ファクトリー）



写真の閲覧（南三陸町写真センター）



リコーグループのべ518名のボランティアが活動し、2012年3月末で、289,830枚の写真をデジタル化・クラウド化して公開しています。

被災された方々からの感謝の言葉

スタッフの皆様へ
 こんにちは。津波のせいでお家がなくなり
 自分の車の時代の写真が全てなくなり
 結婚式のスライドショーに流す予定だった写真が
 なくなって本気でへこんでます。でもみなさん
 のおかげで少し写真が見つかりました。それらの
 ためにわざわざ大変な作業をしていただき
 本当にありがとうございます。私もこれから
 人に感謝されるような人間になりたいと思います。
 もっとが絶対に恩返しします♡ありがとうございます。

スタッフの皆様へ
 私の家はすべて流れました。
 どこを探しても何も見つからず家に居られず。
 心も壊れてしまいました。本当にありがとうございます。

みなさんのおかげで写真が見つかり
 とてもうれしく思います。すべてが
 流されたのでとてもよかったです。



方々にとって、有効な支援活動を展開してまいります。

コミュニティ巡回型情報プリントサービス（2011年6月～2012年3月まで実施）

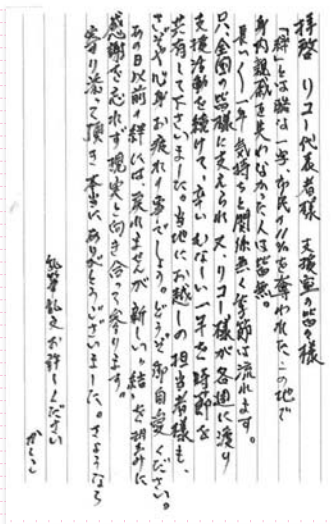
被災地での、「行政からの情報が十分に届かない」、「各種申請に必要な罹災証明書等をコピーする手段が無い」等の困りごとを支援するために、当社提供車両に複合機やパソコンなどを搭載し、宮城県東松島市、岩手県陸前高田市・釜石市の避難所や仮設住宅を定期的に訪問し、被災された方々一人ひとりに届く情報プリントサービスを実施しました。



【プリント準備中】



【プリントをお渡ししているところ】



【被災された方から感謝のお手紙】

● さまざまなプリントの依頼がありました

- ・被災者証明・罹災証明・保険証・免許証・相続関連書類、瓦礫撤去願い、異動届
- ・学校の連絡表・水田作付け可能範囲の地図・震災前／震災後の航空写真等

● コピーだけでなく、新しい街づくりのお手伝いをさせていただきました

- ・避難所から仮設住宅への移転時や、仮設住宅での自治会発足の際の文書作成支援等

※本サービスは2012年3月で終了し、以降、自治体の自主運営に移行しています。

公式サポーターとして、東北観光博を応援します

東北ぜんぶが博覧会場だ。



2012年3月18日から2013年3月31日まで「東北観光博」が開催されています。これは、東日本大震災以降大きく落ち込んでいる東北地域の経済活性化をはかる、官民一体となった一大プロジェクトです。リコーグループではこの観光博に賛同し、これを応援すべく公式サポーターの申請を行い、これまでの「セーブ・ザ・メモリー・プロジェクト」や、「コミュニティ巡回型情報プリントサービス」活動等が認められ、6月15日付で、官公庁から公式サポーターの認定を受けました。また当社では、被災地への社員ボランティアの派遣や、NetRICOHでの被災地商店の紹介、被災地物産の社内販売を展開しております。

- NetRICOHでは、〈とことん県民性〉という「県民性」、「地域密着」をテーマにしたコンテンツをWeb上で展開しております。今回は、「東北応援企画」と題して、東北3県（宮城、岩手、福島）のお客様の会社や商品などのPRができる場を設けています。

<http://www.netricoh.com/contents/officelife/touhokuouen/index.html>



※NetRICOHでは、お客様が商品をお買い上げいただいた金額に応じて加算されるポイントを、震災復興支援活動に活用できる「東日本大震災復興支援」メニューをサイト上に設置しています。2011年度はお客様にご賛同いただいたポイントとして、総額2,535千円を寄付しました。2012年度も引き続き、震災復興支援活動を実施しています。

東北地区社員からのメッセージ集「真の気づき・教訓」を発行

東日本大震災で被災した東北地区のリコーグループ社員から寄せられた体験談から、次の災害に備えるための教訓をまとめたメッセージ集「真の気づき・教訓」を発行しました。リコーグループの社員以外の方にもご活用いただけるように、この冊子をリコー日本のWebサイトに掲載し、自由に閲覧・ダウンロードできるようにしています。



「元気のいい会社」を目指して

私たちはリコーグループの一員として、事業活動をはじめ、社会に対する基本的責任と自主的責任を果たすために様々な CSR 活動を展開していますが、これらの活動は、すべて社員あつてのことです。そこで、社員が目的意識・問題意識を持って、主体的に活躍できる「人材」に成長できるよう、人間尊重を前提とした、「人づくり」「職場づくり」を展開しています。

私たちが目指していること = 「元気のいい会社づくり」

「元気のいい会社」とは……。

- お客様への価値提供を通して、一人ひとりがその貢献を実感できている集団
- 厳しい環境の中でも互いが切磋琢磨し、高い業績に向けチャレンジし続けている集団

「元気のいい会社づくり」のために私たちが取り組んでいること

1. 社員の主体性を引き出す取り組み	積極的にチャレンジする仕組み	・目標面談評価制度	・自己申告制度
2. 成果に基づいた評価・処遇の実施		・社内公募制度	・評価・表彰・処遇制度
3. 働きやすい環境づくり	ワークライフバランス	・仕事と家庭の両立支援	・労働時間管理
		・健康管理と労働安全衛生	・休暇制度
4. 専門性を高め、それを発揮できる環境づくり	人材開発	・職種別専門教育等の OJT と Off-JT	・自己啓発の仕組み
		・e-ラーニング	

積極的にチャレンジする仕組み

主要な仕組み	概要
目標面談評価制度	<p>この制度は、期初に対象者が上司の面談を通じて目標を設定し、期中に進捗確認を行ない、期末にその目標に対する達成度を評価・フィードバックして翌期につなげる制度であり、主に、次の3つを狙いとしています。</p> <p>①組織目標と個人目標の統合 ・組織目標を受け『自らの役割』を明確にすることにより、「組織目標」と「個人目標」を統合します。</p> <p>②役割に沿った評価指標により評価の公平性向上 ・役割を明文化し、それぞれの役割に沿った評価指標を設定した全社共通の職種職務・市場層毎のミッションシートを使用することにより、個人の役割や成果が正しく評価されると共に公平性を高めることにつなげます。</p> <p>③上司と部下のコミュニケーションの充実による評価の納得性向上 ・面談を通じ、上司と部下で、期の目標や役割、その成果やプロセスについてのコミュニケーションを充実させ、双方の意識の統合を図ることで、評価の納得性の向上へとつなげています。</p>
自己申告制度	<p>この制度は、異動に関する希望、上司に知っておいてほしいこと、会社（人事）に知っておいてほしいこと等を社員が申告し、育成や配置の参考にするものです。</p>
社内公募制度	<p>この制度は、社員のチャレンジ精神をベースに、戦略的に強化したい事業分野（地域・市場）に人材を適材配置することを目的にしています。社員が自ら選択できる活躍の場を設け、チャレンジする意欲のある社員のニーズに応える制度です。</p>



「成果に基づく評価・処遇」「働きやすい環境」です。

ワークライフ・バランス

当社では、社員が安心して働きやすい職場づくりを目指しています。社員一人ひとりの「ワークライフバランス」をサポートすることで、社員の能力を十分に発揮し、いきいきと働けるようにしています。

仕事と家庭の両立支援

仕事と家庭の両立をサポートするため、育児・介護休業法で定める内容を上回る制度を導入するなど、仕事と家庭の両立支援に積極的に取り組んできました。2005年からは、次世代育成支援対策推進法に基づく施策を実施し、「子育て支援に積極的に取り組む企業」として、厚生労働省より認定を受けました。

2011年4月からは、第三期の次世代育成支援行動計画に沿って、働きやすい環境づくりに継続的に取り組んでいます。

第三期 次世代育成支援行動計画

- **計画期間** 2011年4月1日～2014年3月31日(3年間)
- **目 標**
 1. 男性の育児参加を促すための施策を拡充し、育児休業の取得を推進する。
 2. 現行の育児支援制度においてより利用しやすい制度運用を推進する。
 3. 所定外労働削減の為の措置実施
 4. 年次有給休暇を取得しやすい環境作り

子育て支援などへ積極的に取り組む企業が取得できる、次世代認定マークのことで、愛称「くるみん」と呼ばれます。

【くるみん】



認定を取得するには、次世代育成支援行動計画策定とあわせ、育児休暇取得率が70%以上であること、育児休業等取得者がいることが条件になっています。

リコージャパンでは、2012年6月に、「くるみん」認定を受けました。

1 育児支援制度

社員の出産・育児と仕事の両立をサポートするための制度です。	● 育児休職 子が2歳になる月の月末まで取得可能です。	利用実績 ・男性1人、女性390人('12年迄) ・取得率91%・育休中86人 (2012年7月1日現在)
	● 育児短時間勤務 子が小学校1年生の学年度末まで取得でき、1人の子に対し制度利用終了後1回限り再取得可能です。	利用実績 ・取得率76%・育休中209人

育児休暇取得しました

次女が生まれる際、妻の体調のこともあり、約1ヶ月間育児休暇を取得することにしました。当初は、お客様や会社に迷惑がかからないか、男性社員が育児休暇を取得していいものか不安もありましたが、理解ある上司や職場の方々の協力、社内制度が整備されたことに後押しされ、取得することができました。妻や子どもたちと大切な時間を過ごしたことで、普段気づかなかったことを感じ取ることができ、今後の自分自身や家族にとって良い出来事になったと思っています。休職中や、復帰後も支えてくれた皆さんに心より感謝しています。



PP事業本部(北海道)
木田 雅大さん

2 介護支援制度

病気や怪我などで、常時介護を必要とする家族のいる社員をサポートするための制度です。	● 介護休職 1年間を限度に、介護休職と短時間勤務が利用できます。	利用実績 ・取得人数4人('09～11年度)
---	---	----------------------------------



労働時間管理

安心して働ける職場づくりの一環として、社員への健康配慮のため、社員の勤務時間が日々確認できる勤務管理システムや、残業をしない「リフレッシュデー」の実施に取り組んでいます。

1 労働時間の適正管理

勤務管理システム（SynCro：シンクロ）にパソコンの起動・終了ログを取り込み、申告時刻との違いを表示し、勤務記録が正確にできるようにしています。申告時刻とパソコンログに設定時間以上の差がある場合は、理由を明記してもらい、勤務時間とそれ以外を区別しています。また、労働時間管理のサポートツールとして「長時間勤務&ヘルスサポートDB」を提供しています。



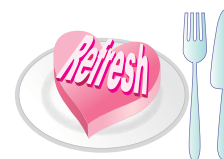
- ・残業時間の日々の実績を、上司と部下が確認できます。
- ・基準時間を設け、基準時間に達したときにアラームを発します。

2 労働時間の適正管理

毎週月・水曜日を全社一斉の“リフレッシュデー”に設定し、遅くとも 18 時 30 分までに退社するようにしています。この日が祝日の場合やフェア対応等で実施できない場合は翌日に振替えるなど、最低週 2 回以上の実施をしています。

目的

- ・仕事にメリハリをつけ時間内に仕事を終わらせよう。
- ・過重労働を防止し、心身をリフレッシュしよう。
- ・事業所の環境負荷低減（省エネ）に寄与しよう。



健康管理と労働安全衛生の取り組み

当社では、社員が心身ともに健康的に働ける職場づくりのために、健康診断や総合検診などを通じて定期的な健康管理を行っています。また、衛生委員会の運営や、感染症予防の取り組みを通じて労働安全衛生の向上を図っています。

1 定期健康診断と総合検診

「生活習慣予防」と「がんの早期発見」を重点とした、定期健康診断・総合健診を年 1 回実施しています。また、入社予定者に対する『社会人としての健康管理』の情報発信や、入社後研修での産業医・保健師による研修も実施しています。研修後はアンケート結果等を受けて、個別対応が必要な場合は保健師からフォローを実施します。

2 メンタルヘルスケア

メンタルヘルスの取り組みとして、e-ラーニングによるセルフケアを全社員に実施し、管理職にはラインケアの学習も提供して、心の健康保持を推進しています。

さらに新任のマネージャーに対しては、部下のメンタルヘルスについての研修を産業医が実施しています。

受講して - 新任マネージャー

- ・産業医の話を通じて、自分の身近な問題と改めて感じた。
- ・日頃のコミュニケーションと変化への気づきの大切さが分かった。



3 衛生委員会の実施

毎月の衛生委員会の実施に加え、テレビ会議を利用して全社衛生委員会を年 1 回実施し、疾病統計や各事業所の取組みを発表するなど、情報の共有化を図っています。また、インフルエンザなど感染症については、予防策や報告等のマニュアルを作成し周知しています。社員やその家族に感染症が発生した場合は、各地の衛生委員会から直ちに報告され、状況確認後お客様への対応も含め、産業医を通して指示・連絡する仕組みになっています。これらの報告や情報提供には、主に安全衛生管理 DB を活用しています。

また、インフルエンザや熱中症対策、休暇中の海外旅行における健康管理の注意点など、その時期に必要な健康情報や、がんなどの病気に関する情報を、全社員向け掲示板で随時公開しています。

発生日	報告日	疾病名
2012/08/02	2012/08/02	おたぶくかぜ
2012/07/09	2012/07/09	流行性耳下腺炎(おた)
2012/06/11	2012/06/25	百日咳
2012/06/04	2012/06/08	風疹
2012/06/01	2012/06/25	百日咳
2012/05/31	2012/06/14	百日咳

【安全衛生管理DB】



「成果に基づく評価・処遇」「働きやすい環境」です。

休暇制度の充実

1 年次有給休暇制度

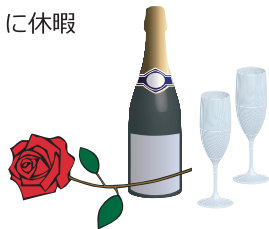
計画年休・記念日休暇・シーズン休暇の取得を促進し、有給休暇を取得しやすい環境をつくっています。

・シーズン休暇

四季折々にリフレッシュすることを目的として、年度内5日の休暇を個人が自由に取得できる制度です。また、2日連続での取得も可としています。

・記念日休暇

記念日（本人の誕生日、家族の誕生日、結婚記念日等）に休暇を取得できる制度です。



2 支援休暇制度

私傷病や家族の介護等で止むを得ず長期で休業することになった場合に、年休を使わず毎年失効してしまう日数を「いざ」というときのために積み立てして取得することができる制度です。毎年失効する有給休暇を20日を限度として積み立てます。積み立てた支援休暇は、有給休暇をすべて取得した後に1日単位で使用することができます。

3 リフレッシュ休暇制度

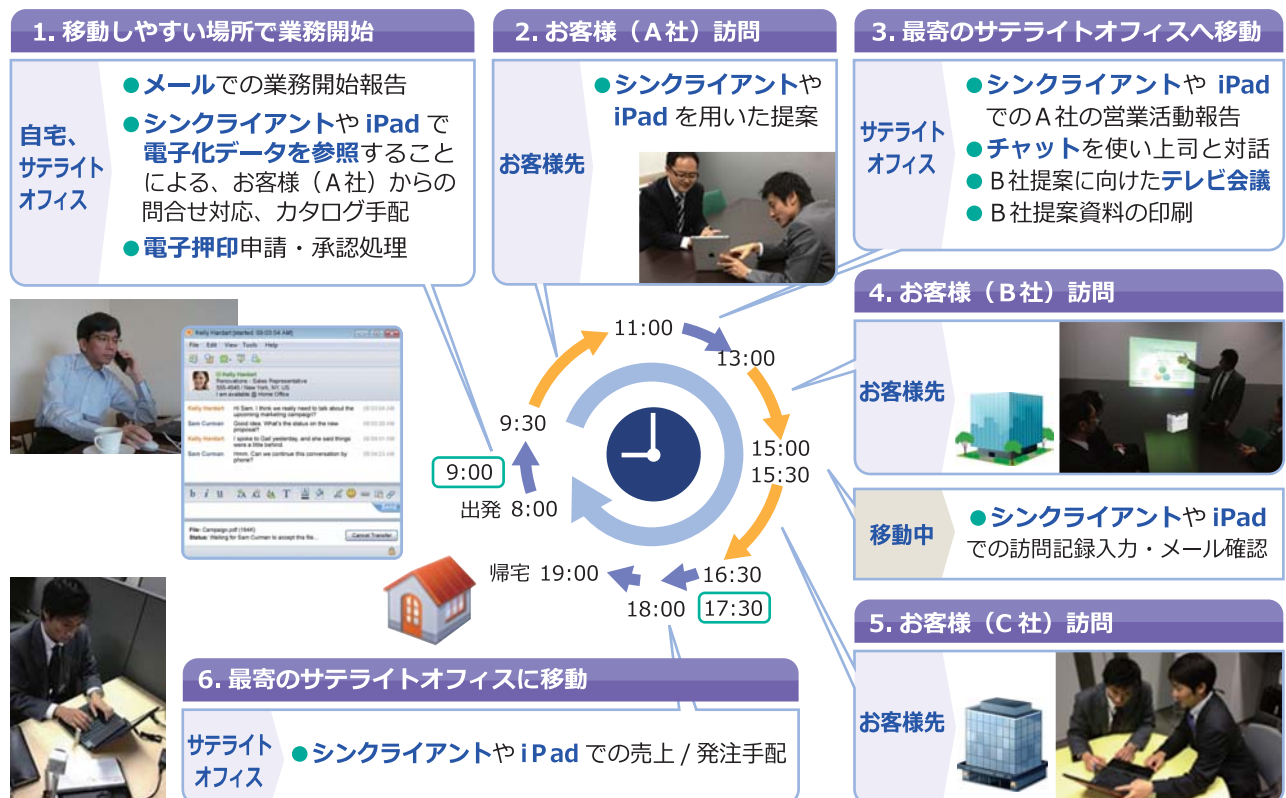
10年以上勤務した社員が、心身のリフレッシュを図るための制度です。10年以上で5年ごとの勤続年数に応じて、特別ボーナスと5日間のリフレッシュ休暇が付与されます。



ワークスタイル変革へのチャレンジ

営業社員がモバイル端末を持って活動することで、働く場所を選ばず業務が行なえるワークスタイルへの変革にチャレンジしています。時間を有効に使うことで、営業活動の効果向上と、労働時間の短縮も見込めます。直行直帰スタイルの本格的導入に向け、2011年度の実施状況を踏まえた課題解決を進めています。

【私たちが目指す新ワークスタイル（1日の働き方）のイメージ】



人材開発の仕組み

リコー日本の企業ビジョン「お客様に安心・満足・感動していただく価値共創パートナーの実現」を自分の職務に置き換えて具体的に遂行できる人材の育成を図って、教育の体系化を進めています。

人材育成の基本方針

企業ビジョンを実現するためには、各自の職務を通して、その企業ビジョンを体現できる人づくりが重要です。そこで「顧客価値提供力で市場をリードし、お客様から信頼される人材の育成」を育成の基本的な考え方として、以下の3つの基本方針で人材育成に取り組んでいます。

基本方針

- ①方針・ビジョンを理解し、自らの言動に反映できる人材の育成
- ②中経戦略目標を各事業戦略に基づいて実現できる専門スキルを保有したプロ人材の育成
- ③社員一人ひとりが生き活きと活躍できるように自律成長を支援する仕組みの構築



人材育成教育体系

基本方針に基づき、以下の3軸で人材育成を図る教育体系を構築しています。

【教育体系の3つの軸】

1. プロ人材として専門能力を磨き顧客価値提供力を向上する：職種別専門教育
2. 節目の年齢で保有能力を踏まえて自らのプロ化へ向けたキャリア形成を図る：節目教育
3. 昇格時や役職登用時に新たな役割を認識し必要なマネジメント能力を身につける：階層教育

社員ステージ	マネジメント力強化		全社員教育	職位	課題解決提案力強化					活性化
	階層別教育				職種別専門教育					節目・共通
	新任者向け	既任者向け			直売セールス	代売セールス	専任・商担	戦略・企画	管理	
役員 & 幹部	新任経営幹部研修	(選抜) ビジネスリーダーセミナー	理念/ビジョン浸透教育・CS・M・Q・S・M・P教育・	部門長以上	市場マネジメント力強化研修		実践的マーケティング研修		※破線枠研修は、12年度開始中の研修	
M3	新任部門長研修	人材軸マネジメント力強化研修		課所長	RIMDIC 研修 推進者研究会				キャリアデザイン研修(55歳)	
M2 & M1	新任課所長研修	評価者研修		ベテラン・職種基本・若手・新人	チャレンジプラン研修	顧客関係力マネジメント化研修				キャリアデザイン研修(40歳)
S4	新任S4研修			(営本/支社別の個別育成課題に対応する研修)	プロフェッショナル研究会-直売SA版-	IT-Product 研修				
S3	新任S3研修			直売基本研修 ①MA	代売基本研修 ①BPセールス	専任基本研修 ①SC/SS	戦略企画基本研修 ①戦略/販促	管理基本研修 ①トレーナー大学 ②管理業務スタッフ ③DMCスタッフ	キャリアデザイン研修(30歳)	
S2 & S1	若手(1~3年)研修 新人研修			職種転換者向け研修	課題解決提案基本研修		SA基本研修			



組み、一人ひとりが自己成長できる環境を整備しています。

各コースの概要

1 顧客価値提供力の向上（職種別専門教育）

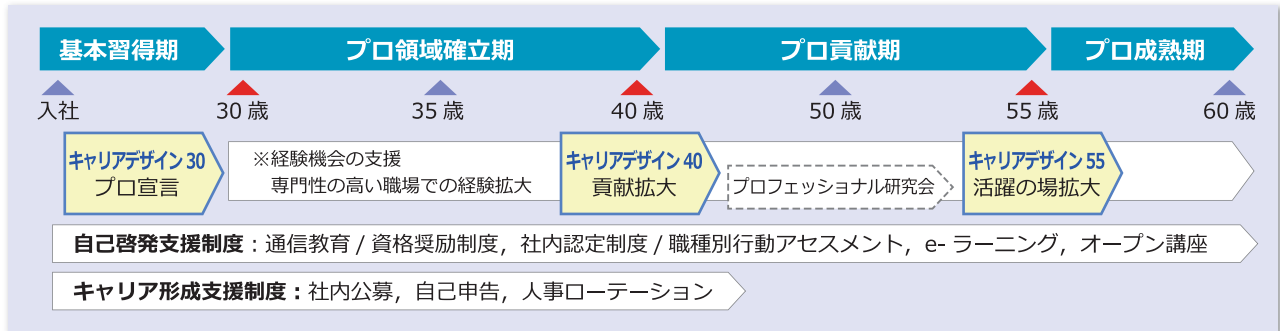
顧客接点の営業社員からバックヤードで会社の管理運営を担当する管理業務を担当する社員まで、全社員が顧客価値提供のために、各自の専門領域の職務遂行能力の向上を図ることは欠かせません。職種に応じた研修を提供し、充実を図っています。特に直接お客様に価値提供を担う役割の営業社員には、より深くお客様を理解し、業務上の課題を抽出し、的確な課題解決策を提案できるように、課題解決型営業としてのスキル強化に力を入れています。

【営業社員の課題解決能力の向上】

コース	狙い・目的	学習内容
顧客関係力強化コース	信頼関係を強化し、お客様のパートナーとしての価値提供の幅を広げるための資質・スキルの修得	<ul style="list-style-type: none"> お客様との信頼関係を強化するためのプロセス 信頼関係強化のためのプラン構築
IT-RSS エクセレントコース	お客様の経営課題を明確にし、お客様の理解を得て推進するために必要な知識・スキルの習得	<ul style="list-style-type: none"> 経営者の関心事の理解 経営課題を踏まえて業務課題を抽出・把握 提案内容についての理解・納得促進の働きかけ
IT-RSS アドバンスコース	部門業務の潜在課題を顕在化し、業務改善提案に必要な知識・スキルの修得	<ul style="list-style-type: none"> 業種ごとの業務内容の理解 業務の流れ（業務フロー）の中での問題点の把握 業務課題の明確化と課題解決策の立案
IT-RSS ベーシックコース	I T 環境及びドキュメントに関する作業課題を共有する知識・スキルの修得	<ul style="list-style-type: none"> お客様である企業の理解 お客様との信頼関係構築の向上 お客様の状況把握、課題共有の手法の習得

2 自らのプロ社員としての意識形成（節目教育）

世代毎の特性や課題に合わせて 30 歳、40 歳、55 歳の節目で「キャリアデザイン研修」を実施し、社員一人一人が、自分自身の実現したいキャリアと会社の中で目指すべきプロ社員としての方向性を確認し、自分の職務遂行上の特性（強み・弱み）を踏まえて、プロとしてありたい姿の再設計をし（キャリアプラン）、実現に向けた道筋を描きます。



3 マネジメント能力の向上（階層教育）

ステージ昇格の際、あるいは役職登用される際に、そのステージや役職で果たすべき役割を認識し、役割遂行に必要なマネジメントに関わる知識・スキルを学びます。これにより、職場における円滑な人間関係と的確な業務遂行を実現し、活性化した組織でお客様対応に取り組みます。

職位	ステージ	研修名（新任者）	実施の狙い
管理職	M3	新任部門長研修	<ul style="list-style-type: none"> 部門戦略の策定に伴うスキルを習得する 組織活性化のための「間接マネジメント」の実践スキルを習得する
	M2	新任課所長研修	<ul style="list-style-type: none"> 自組織の目標達成及び、部下育成の為に役割遂行スキルを習得する マネジメント力強化の為に問題解決力とコミュニケーション能力を強化する
	M1	新任管理職研修	<ul style="list-style-type: none"> 一般職と管理職の立場の違いを認識し、組織への影響力発揮と自己革新を促す 管理職として期待される担当業務遂行上の課題設定力、問題解決力を習得する
一般職	S4	新任 S4 研修	<ul style="list-style-type: none"> マネジャー方針実践の中で、S4 として求められる役割を認識する チームのまとめ役として、良い影響力を発揮していく人材へ行動変容を促す
	S3	新任 S3 研修	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の基本習得と職務遂行の品質向上のため、PDCA サイクルを習慣化させる S3 としての役割を認識し、成果創出のための意識・行動の変革を考え実践させる



ViCreA

Value innovation Creative Area

私達の「ワークスタイル」変革への

ViCreA（ヴィクレア：Value innovation Creative Area）は、私たちのワークスタイル変革へのチャレンジを、お客様にご体感いただく空間、「ライブオフィス」です。

ViCreA では、「社内実践事例」のご紹介を通して、お客様の価値創造へのお役立ちをさせていただきます。

自ら実践した内容だからこそ、成功事例はもちろんのこと、失敗談も含めた生のノウハウをお客様に自信を持ってご提供することができると考えております。

そのコンセプトは、「Only We Can」。

ViCreA では、お客様によって異なる環境や状況を深く理解し、一つひとつの課題に対しお客様に最適なお提案をさせていただきたいと考えております。是非、ライブオフィス「ViCreA」にご来場下さい。心よりお待ちしております。

ViCreAでご紹介している実践内容

<p>Risk management</p> 	<p>事業活動のリスクを軽減し、企業体質を強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報漏えい対策 ● オフィスのセキュリティ強化 ● 事業継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ IC カード（社員証）活用による入退室管理 / 認証印刷 ・ クリアデスク・クリアスクリーンの徹底 ・ 社員安否確認システムの導入
<p>Information</p> 	<p>社内情報を共有化し、ビジネスに有効活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 情報の共有化 ● 情報蓄積と有効活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ iPad を活用した提案品質、訴求力の向上 ・ グループウェア（Notes）利用による情報共有の促進 ・ Web 利用による顧客情報蓄積と活用 ・ 環境・ISMS 等、グループ共通情報のタイムリーな共有
<p>Cost CS&ES CSR</p> 	<p>無駄を省いて、コストを削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コスト削減 ● 顧客満足・社員満足向上 ● コンプライアンス強化 <ul style="list-style-type: none"> ・ ペーパーレス会議の実施による用紙コスト削減 ・ 出力機器の最適化による機器台数の削減 ・ 携帯内線活用による通信コスト削減 ・ 毎月のセルフチェックによる社員教育の実施
<p>Office Innovation</p> 	<p>社員が働きやすい、オフィスづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● コミュニケーションしやすく働きやすいオフィス <ul style="list-style-type: none"> ・ ユニバーサルレイアウトの導入によるマネジメント変革 ・ 職種にあわせたデスクスタイルの導入 ・ モバイル端末（シンクライアント PC・iPad）の活用による営業生産性の向上 ・ 直通内線の活用促進による取次ぎ業務軽減と集中化
<p>Office Eco</p> 	<p>環境にやさしいオフィスづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 省エネ等の、オフィスの環境負荷低減 <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみゼロオフィスへのチャレンジ ・ クリーンアップデー導入による社内美化の維持継続 ・ UCS 活用による出張経費 / 移動時間の削減 ・ 電力の見える化による節電へのチャレンジ
<p>Human</p> 	<p>社員の能力を高める学習システムの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社員のスキルアップ・人材開発環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・ グループウェアや Web を利用した e-ラーニングの実施 ・ 社員スキルアセスメントの実施による人材戦略立案 ・ アドバイザー制度の導入による若手社員の早期戦略化



実践事例を、お客様と共有したいと考えています。

チャレンジを、お客様にご体感していただく空間

Only We Can

それぞれの課題に、最大限の成果を。

ViCreA ご案内の流れを実例でご紹介いたします

ViCreA では、お客様のご要望に合わせて実践事例をご紹介します。お客様の企業価値向上を図る第一歩として、有効にご活用ください。また、ViCreA では、お客様のご要望に合わせて、ご紹介の内容や時間を調整させていただきます。お気軽に、当社担当営業までお申し付け下さい。

STEP 1 お客様の課題・ご要望をお伺いいたします

前任の引き継ぎで、お客様を訪問。お客様が取り組んでおられることや関心事をお伺いしました。



御社では、どんな活動を展開されていますか？

1

昨年は「電力削減」に取り組み 1 割減の成果。今度は何に取り組もうかと思っていた矢先、社員の出張報告書に、「自社では汚れている装置が、A社では綺麗だ」というのがあって 綺麗だから、安全でトラブルが少ないのでは。

2

今度は 5S に取り組むことにしました。



それでしたら、私どものオフィスや工場での事例がお役に立つかも知れません。

3

一度 ViCreA をご覧になりませんか？



STEP 2 ViCreA 見学・実践事例ご紹介

リコー = コピー屋さんで、ViCreA はモデルオフィスだけを見せてくれると思っていました。



オフィスの中まで丸ごと見せてくれるとは... 驚きました。



ViCreA 見学



実践事例紹介

4

STEP 3 お役に立てた点等ありますか

クリアデスクとクリアスクリーン。それから姿勢きをすぐ導入しました。リコーさんは 5S の先生。当社の弱い部分を助けてほしい。



今後も幅を広げたセミナーをプロデュースして下さい。

5

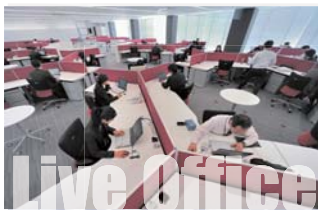
是非、当社の改善・改革のノウハウをお役に立ててください。



6

ViCreA 拠点

※2012年10月現在



ViCreA 甲府	ViCreA 新潟	ViCreA 札幌
ViCreA 山梨中央	ViCreA Satellite 長岡	ViCreA 仙台
ViCreA Satellite 富士吉田	ViCreA 宇都宮	ViCreA さいたま
ViCreA 長野	ViCreA 前橋	ViCreA 水戸
ViCreA Satellite 東信	ViCreA Satellite 相模原	ViCreA Satellite つくば
ViCreA Satellite 松本	ViCreA みなとみらい	ViCreA Satellite 武蔵野
ViCreA Satellite 三河	ViCreA 東静岡	ViCreA Satellite 立川
ViCreA Satellite 豊橋	ViCreA 静岡	ViCreA 幕張
ViCreA Satellite 岡崎	ViCreA Satellite 浜松	ViCreA 新宿
ViCreA 四日市	ViCreA Satellite 尾張	ViCreA 東京
ViCreA 大阪	ViCreA Satellite 名北	ViCreA 銀座
ViCreA 広島	ViCreA 名古屋	ViCreA @RICOH
ViCreA 福岡	ViCreA Satellite 名南	ViCreA Central

ホームページから直接 ViCreA にお申込みいただけます！ ご来場をお待ちしています！

ViCreA ご紹介ページはこちら⇒ <http://www.ricoh-japan.co.jp/liveoffice/index.html>

ViCreA 全国拠点一覧はこちら⇒ <http://www.ricoh-japan.co.jp/liveoffice/map/index.html>

リコー実践プレゼンテーション 当社が実践したこと、挑戦したことをご紹介します。

リコーグループ各社で培ってきた社内実践ノウハウをお客様の課題解決や企業体質の強化にご活用ください。
 私たちはお客様の企業価値向上に貢献でき、安心・満足・感動していただく「価値共創パートナー」となることを目指しています。また、リコーグループで実践して成果が出ている改善・改革のノウハウを、経営課題の解決に寄与できるソリューションメニューとしてご用意しています。



※BSC (Balanced Scorecard) = バランス・スコアカードの略

ご紹介できる実践・挑戦テーマ

カテゴリ	概要
CSR	持続可能な社会と企業の発展を目指し、CSRの基盤となる3つの考え方を実践 <ul style="list-style-type: none"> ・社員の意識を高め、CSRをどう根付かせるか ・具体的にどんな活動を実践しているか ・自社の技術や人材を活かした社会貢献活動
環境	環境負荷削減と生物多様性保全の両輪で、地球環境問題への取り組みを強化 <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全と利益創出の同軸化 ・CO₂見える化や具体的な環境負荷低減活動
ITシステム	業務プロセス最適化とIT活用による業務効率化、及び、IT活用によるセキュアな会社づくり <ul style="list-style-type: none"> ・人事・総務等、スタッフ部門のIT活用システム ・国内グループ91社のISMS統一認証システム
経営	21世紀の勝利者を目指し、「顧客価値創造」と「高効率経営」の両軸徹底による競争力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略と部門施策を明確にした経営マネジメント (BSCの活用)
生産現場の改善	「大量生産」と「短納期・小ロット」生産。2極化するニーズに対する現場の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・品質・経費・納期・安全実現の5S活動 ・労働災害の「潜在的危険の低減」と「快適職場環境の形成」

カテゴリ	概要
人材育成	経営戦略実現のキーとなる人材強化で、やる気のサイクルを高め「元気のいい会社」へ <ul style="list-style-type: none"> ・人材タイプ別キャリアデザイン ・ワークライフバランス ・e-ラーニングシステム
お客様接点力	お客様起点の「安心」「満足」「感動」の実現を目指したお客様接点力強化 <ul style="list-style-type: none"> ・価値提供プロセスの可視化とインフラ強化 ・導入後の「安心利用」を提供するサポート体制



多くの事例は、「お客様が抱える経営課題」に通じていませんか。
 私たちが実践してきたことが、お客様のお役に立てるかも知れません。



実践事例を、お客様と共有したいと考えています。

リコージャパン株式会社 事業所一覧

RICOH JAPAN CORPORATION

① 北海道営業本部 〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西2-8-1 札幌北ビル

札幌北事業所/麻生事業所/白石事業所/旭川事業所/北見事業所/函館事業所/
苫小牧事業所/室蘭事業所/帯広事業所/釧路事業所

② 東北営業本部 〒980-0022 仙台市青葉区五橋1-5-3 アーバンネット五橋ビル

宮城支社/青森支社/秋田支社/岩手支社/山形支社/福島支社

③ 関東営業本部 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-45-1

埼玉支社/茨城支社/栃木支社/群馬支社/新潟支社/長野支社/山梨支社

④ 首都圏営業本部 〒104-0061 東京都中央区銀座6-14-6 第2リコービル

東京支社/東京L A支社/神奈川支社/千葉支社/西東京支社

⑤ MA事業本部 〒104-8222 東京都中央区銀座8-13-1 リコー本社ビル

金融事業部/産業第一事業部/産業第二事業部/流通・サービス事業部/RGSJ/
SP事業部/ユニバーサルサービス事業部/公共事業部

⑥ 中部営業本部 〒451-6010 名古屋市中区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー

愛知支社/静岡支社/三重支社/岐阜支社/福井支社/石川支社/富山支社

⑦ 関西営業本部 〒540-0012 大阪市中央区谷町4-11-6

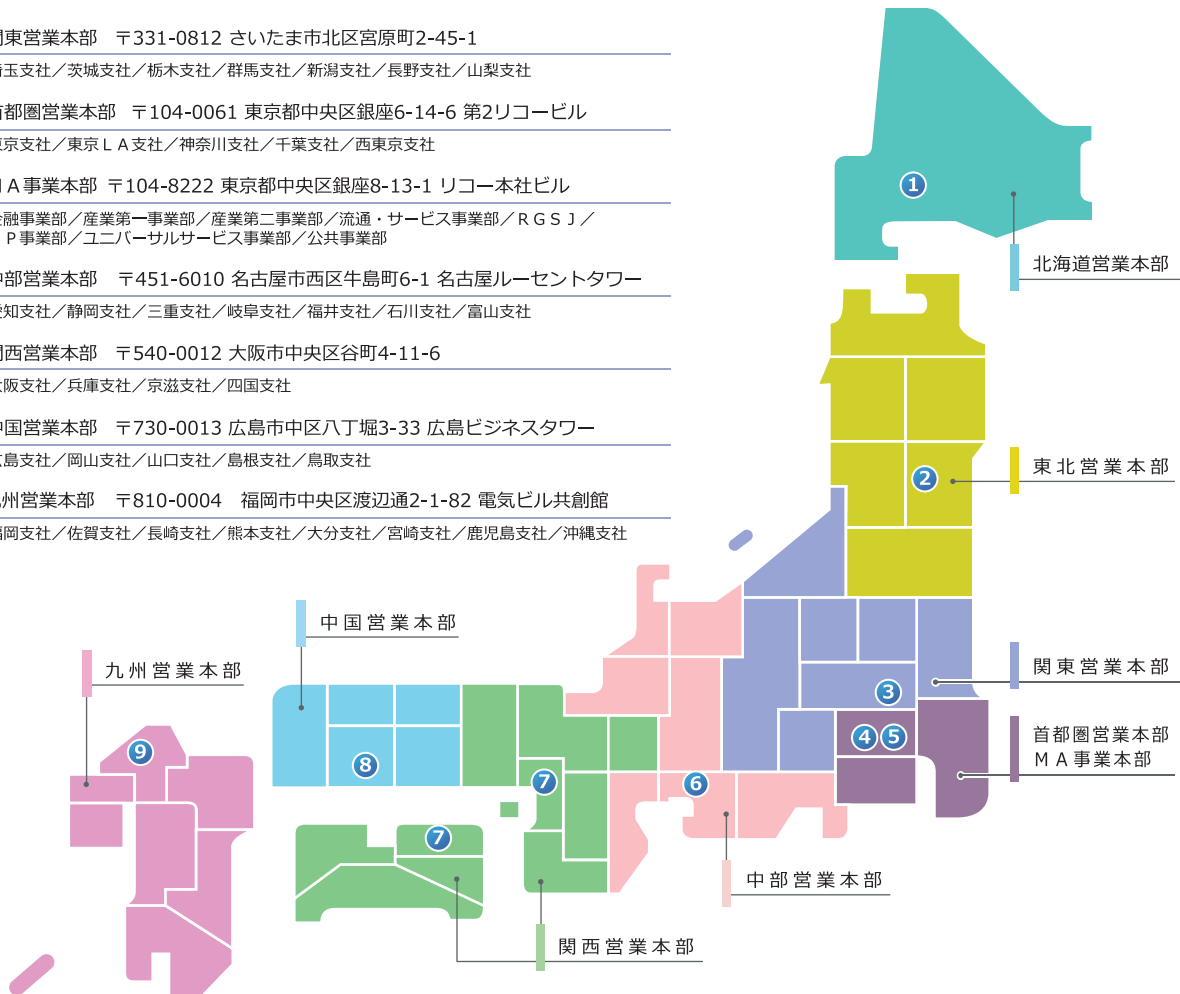
大阪支社/兵庫支社/京滋支社/四国支社

⑧ 中国営業本部 〒730-0013 広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー

広島支社/岡山支社/山口支社/島根支社/鳥取支社

⑨ 九州営業本部 〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館

福岡支社/佐賀支社/長崎支社/熊本支社/大分支社/宮崎支社/鹿児島支社/沖縄支社



会社概要

- 創 立：1959年5月2日
- 資 本金：25億円
- 代 表 者：代表取締役 会長執行役員 我妻 一紀
代表取締役 社長執行役員 CEO 佐藤 邦彦
- 売 上 高：572,386百万円 (2012年3月期)
- 従業員数：11,300名 (2012年4月1日現在)
- 本 社：東京都中央区銀座7-16-12 G7ビル
- 事業内容：ドキュメントソリューションをベースとした、リコーのデジタル複写機、プリンター、ネットワーク関連商品、消耗品の販売、及び機器保守、アフターフォロー等をトータルで提案と提供

取り扱い商品

- 主 要 製 品 リコー製デジタル複合機/レーザープリンター/
ジェルジェットプリンター/デジタルカメラ/
スキャナー/ファクシミリ/デジタル印刷機
- ソフトウェア 文書管理ソリューション/LotusNotesソリューション/
ナレッジソリューション/業種業務ソリューション/
検索ソリューション/セキュリティソリューション/
ストレージソリューション/
- インターネット 企業向け1to1ポータルサイト「NetRICOH」
- S&S 関 連 ITKeeper
- サ ブ ラ イ トナー/PPC用紙/サーマルペーパー





2012
リコージャパン株式会社
CSR報告書

この報告書の内容に関するご意見、お問い合わせは下記で承っています。

リコージャパン株式会社
経営管理本部 ビジネスマネジメントセンター CSR推進室
〒104-8180 東京都中央区銀座7-16-12 G-7ビルディング
TEL.03-6278-6535 FAX.03-6278-6536

<http://www.ricoh-japan.co.jp/>

121210-ver.2.0 2012年12月発行